

## アンケート自由意見の掲載について

アンケートの自由意見について、パネリスト等個人に対する批判的な内容のもの、極端な表現が含まれているもの、不明瞭であるもの、会場の設備面に関する内容のもの等については、掲載を控えさせていただきましたので、ご了承ください。

Q2:「愛媛県プルサーマル公開討論会」に参加されての全体的なご感想はいかがでしたか。

東予

【良かった】

推進及び反対の論点が明快であった。わかりやすかった。
県民として他人事ではないと思う。
プルサーマルは絶対にダメです。
プルサーマルと地震は目的が異なるので、目的を明確にしてほしい。
先生方の考え方もいろいろ視点の違い。
プルサーマルを軽水炉で使用する危険性が理解できた。
伊方を含め、内容が高度であり、もう少し一般の理解できるレベルにしてほしい。
議論がかみ合っていない面では不満。
推進派、反対派双方の意見が分かった。
プルサーマルという意味がわかった事。
賛成・反対両方の意見が平等に聞けた。
初めてこのような討論会に参加したので、賛成派、反対派、両方の意見を聞けた点。

【まあまあ良かった】

安全性・必要性がよくわかった。
プルサーマルの意味がやっと理解できました。
討論会も引き続き何回も開いたらどうでしょうか。
私たちには難しい。
プルサーマルについて十分理解できた。
一般の人には難しくて充分理解できない。もっと何回も聞かないと市民は納得できない。
わからなかったところが少しずつわかってきた。
難しいお話でしたが、いろいろな先生方の意見の違い等、少し原子力発電の概略が見えてきた。
プルサーマルの話は3回目です。
討論会は自分の意見を発表していた。
プルサーマルの必要性は分かるが潜在的な危険性をもつ。
プルサーマルの言葉から判らなかつたが少しだけ理解できたこと。
問題点が一定明らかになった。

【普通】

賛成、反対の意見をいろいろ聞いてよかった。
プルサーマルの意味が少しわかった。
ヤジが多い。聞きづらい点があった。2時間は長い。
全体として難しい。
反対派のパネラーが声が大きく、主張も長い時間だったように思う。
主な論点が多いので難しかった。

【あまり良くなかつた】

感情的な意見が多く、抽象的。
聞き取りにくい言葉があった。
反対派の会場野次や意見に影響されて進んでしまった。
パネルディスカッションの時間が長すぎて質疑応答時間が短いのでは？
専門語が多くて解りにくかつた。

【良くなかつた】

コメントなし

【未記入】

反対意見の人たちの耳障りな結束を感じた。
不勉強のためプルサーマルそのものが良くわかりません。
先生方の説明で関心が出来ました。
一番関心の深い地震のパネラーがいない。

中予

【良かった】

未来のこと、将来のことを考えたとき、今できることを真剣に考える必要がある大人の義務と思える。
多方の立場での討論は有意義だった。
プルサーマルの必要性が理解できた。
必要性にしても安全性にしても、推進・慎重共に結論付けられていないまま実施しようと試みていることがよくわかった。
慎重派の意見も含めて、広く意見を聞いた。
反対意見・賛成意見両方聞くことができた。
×3人ずつのパネリストなので。
賛成・反対、両方の意見が聞けて大変良かった。
推進・反対 両派の意見が聞いたこと。
パネリストより賛成と反対の意見を聞けてよかった。
争点をはっきりしてわかりやすかった。
日本のエネルギー事情により、プルサーマルは推進すべきだと感じた。
プルサーマルにすることによる利点と安全に関する問題が良くわかった。
気になること、何が問題なのか整理することが出来た。
パネリストの方々がわかりやすく説明されていた。
賛成派の学者の先生の説明が素人にもわかりやすかった。
コーディネーターがよかった。
プルサーマルの必要性と安全性を十分理解できた。
事実関係が判明。
プルサーマルの賛成・慎重、各々の意見・考えが十分理解できた。
いろいろ意見が聞けてよかった。
プルサーマルの安全性が理解できた。
論点をはっきりした。
賛否両論の意見が良く聞けてよかった。
国の原子力政策に反対する反対派とは議論がかみ合わない。
このような機会は重要問題を決める上で必要。
専門家の推進派、反対派の意見を聞いたこと。
賛否両論の切り口からの意見が聞いた。
わかりやすい説明であり、理解できた。進め方がよかった。
推進、反対 両者の意見が聞いた。
反対の意見の人はプルサーマルにかわる安全なものを考えてほしい。
推進・慎重、両面からの話が聞け、また会場の意見も聞けてよかった。
推進派、反対派のそれぞれの意見が聞いて良かった。
専門家の先生の意見を直接聞くことができ、原子力の必要性を強く感じた。
色々な視線で議論され良かったと思う。
賛成・反対、両方の意見がよく理解できた。
県民の生の声がよくわかった。
多様な意見のパネラーが出席した討論会はよかった。
プルサーマル計画の概要がわかった。
事業の必要性を理解した。
質疑の時間を長く取っていたのがよかったが、反対派の発言の機会が多すぎた印象があった。
原子力は大黒柱で必要だとわかった。自然エネルギーは頼りにならない。
反対意見も十分に出されていた。
賛成派、反対派、それぞれの意見が聞いてよかった。
長所短所がよく分かりました。
内容は十分満足いくものであったが、聞く人の立場の時間配分をお願いしたい。
プルサーマルの必要性がよく分かった。
慎重論、推進論をかみあった討論の形で聞くことができた。
多様な意見が聞いてよかった。
パネラーが発言している時野次が飛んだ。気分が悪い。
双方の考えをよく聞いた。
教授の考えを色々聞くことができた。
プルサーマルについて理解できた。
専門的な話を推進、慎重派から聞くことができてよかった。
興味が深まった。
パネリストの方々がはっきり立場を言われて問題点や利点を分かりやすく言った。

全体的によかった。
プルサーマル利用の必要性安全性がよく理解できた。
プルサーマルが理解できた。
双方の主張がよく分かった。
安全ということがよく分かった。
賛否両論の意見を各専門家から聞くことができた。
賛成派と反対派の意見を聞いてよかった。休憩の時間を2回とってほしかった。
安全ではない。
大変勉強になった。
賛成派、慎重派の立場及び考え方のよく分かる内容だった。
電気の大切さを知ってよかった。
賛成論、反対論双方の意見を聞くことによって自分のプルサーマルへの認識について刷新できた。
賛成反対の意見が十分に聞くことができた。
いろんな視点でプルサーマルの今後のあり方が見えてきてよかった。
専門家も着眼点が違ふと意見が対立するところ。
慎重派の先生の説明は根拠が極端であり、現実的な意見が少ない。
沢山の意見等があり、パネリストの説明も良かった。
プルサーマルに関する理解が深まった。
プルサーマルの危険性が良くわかって良かった。
推進派、慎重派の意見を直接聞くことができた。
賛否両論が聞けた。
推進派の方は最新の知見データで説明されていてわかりやすかった。反対派の方は、古いデータ等を恣意的に利用されているのが目立った。
プルサーマル計画の問題点がわかったことが良かった。一方、原子力そのものの議論が中心となってしまうのは残念。
真剣に話を聞いていて、良かった。
知識が深まった。
プルサーマルは何ぞや？が理解できた。
公開討論会を設けること、とても良いこと。県民も聞く権利がある。
とても丁寧に素人にもわかりやすく説明してもらったのでよく理解できた。
安全性、危険性、必要性等々、良くわかった。
プルサーマルの危険性が本当によく分かった。
具体的な数値等により安全性への理解が深まった。
プルサーマルの理解が深まった。
賛成、反対両者の意見を聞くことができてよかった。
プルサーマルを理解(ある程度)できた。
【まあまあ良かった】
いろいろな意見を多く聞いてよかった。
賛成、反対、いろいろな意見が聞いてよかった。
様々な意見が聞けた。
今まであまり関心がなかったが、いろいろな意見・考えがあることが理解できた。
コーディネーターが推進側の会場発言を求めたのは明らかにアンフェア。
内容は興味深く、パネリストそれぞれの意見も面白かった。
技術集団での討論を聞くとプルサーマルは未だかなとの感想。
推進は、慎重派の意見を一度にうかがうことが出来た。
広く一般の人に呼びかけて多くの意見を聞くこと。
県の政策的なことに対する非難のような発言は述べるべき場所が違ふと思う。
進行がスムーズだった。自己中な男をつまみ出してほしかった。
時間が短く理解しがたい。
反対派の意見は古い知見によるもので、もっと最新の情報で回答すべき。
いろいろな見方、考え方があるのがわかった。
理解が深まった。
もう少し時間を取った専門家中心の討論会のほうがよかった。事前に質問がない場合、質問時間を短縮すればよい。事前質問を原則としたほうが時間を有効に使える。
伊方の討論会よりパネラーの意見がそれぞれはっきりして理解できた。
改めて考えるきっかけになったことはよかった。
安全性の面だけでなく、色々な面からの必要性について理解が深まった。
賛成、反対の立場から意見が聞けた。
時間の制約で十分説明が足りたとは思えないが、必要性、安全性について一応の理解が得られた。
プルサーマルについて前より関心をもつことができた。

原子力への関心が深まった。  
 プルサーマルについて色々考えさせられた。  
 専門的なことであるが、多少理解できた。  
 大変勉強になった。愛媛は地震も度々起きている。伊方原発の所が地震になり安全性が心配です。ヨウ素剤は県民全員が持てるようにしてください。  
 プルサーマルの内容がよくわかったこと。  
 大勢の来場者を見て県民の関心の高さを感じた。  
 立地県での議論は、政策的ではなく安全性に重点を置くべきだと思う。  
 プルサーマル以外の討論があったため、プルサーマルの討論がぼけた。  
 プルサーマルの内容、賛否の論点があった。  
 外野がうるさい。  
 賛成、反対の意見を同一レベルで聞いた。  
 賛否の論点が明確で理解が深まった。  
 賛成反対意見がそれぞれ聞いたこと。  
 プルサーマル何のことが分からなかったが理解することができて意味のある討論会だった。  
 討論会をもっと早い時期から数多く行うべき。  
 推進派と慎重派両方の意見が聞けよかった。  
 プルサーマルの様々な問題について討論がされていた。  
 反対側の人たちが会をつぶそうとして、もっと聞きたかったのにできなかった。  
 参加者の意思が聞いてよかった。  
 理解が深まった。  
 資料、画面に関しては専門的なものを詳しく示したほうがいい。  
 日本のエネルギー問題を考える機会になった。  
 推進派、反対派、様々な意見を聞くことができた。  
 良かった点、伊方町との中継。  
 前向きな考え方と批判的な意見とに分かれての議論で先生方の考え方が良くわかった。  
 プルサーマルの論点がよく解った。  
 賛成、反対両者の意見が聞いて良かった。  
 反対する人は何もかもまぜて聞くので発散できたのではないか。  
 反対側の団体に、この会が利用された印象があります。  
 推進派、慎重派のそれぞれの意見が聞いて良かった。  
 必要性に関する論点が理解できた。  
 導入について賛否両論聞いて良かった。  
 賛成派、反対派それぞれの意見を聞くことができ良かった。  
 推進派、慎重派双方の意見により活発な討論がなされていた。  
 プルトニウムリサイクルと言われるが安全性に不安を持つ。  
 やや長かった。

【普通】

ポイントを絞って、わかりやすいものとするべき。様々な見地からの意見がある。  
 安全性の問題については十分な理解が得られない。  
 話のズレが生じている。  
 専門的な内容が多く、理解できないところがあった。  
 論点がぼやけて、わかりにくい内容であった。  
 専門用語で話すのでよく理解できなかった。  
 表、グラフでまとめた資料を見ながら話を聞くことができよかった。  
 プルサーマルの主旨からはずれた(原発そのものの存在)意見が多すぎる。  
 事前説明どおり、不規則発言者は即退場させるべき。  
 討論というより自己主張的になった。  
 プルサーマル計画についてよくわかった。  
 賛成・反対の意見が聞いたため、プルサーマルに関する知識が深まった。  
 各先生の話の内容を発言する時間が不十分、時間長すぎ。  
 パネラーの推進派と慎重派がかみあってなかった。

パネリストの発言時間が短く中途半端にしか分からない。
参考資料のアクセスポイントも資料に入れてほしかった。
必要性、安全性をもっと一般の人に分かり易い説明が欲しかった。
プルサーマル計画について細かいことまで理解することができた。
話しが難しかった。
難しい話が多かった。
参加人数が多すぎた。
プルサーマル以前の話が多かったのは残念だった。
プルサーマル自体の説明の部分が不足しすぎている。
反対派ばかりの意見。
良:賛否両方の意見が詳しく聞けたこと。悪:お互いの意見が相入れないものであり、結論が出ない。
言ってることが難しい。分かりやすい議論を。
専門用語が多いのでわかりにくい。
いくつかある問題が具体的にどう判断されるべきか、パネリストのそれぞれの立場から意見が出されるばかりで集れんしていくことが少なかったと思う。
やじが多い。
【あまり良くなかった】
慎重派のセレモニーの感が強い。
パネリストの賛成は賛成、反対は反対、あくまでも自身の意見のみのものが強い感じがした。
会場の意見がもっと聞きたかった。
専門的なことが多くて理解しにくい。
必要性について議論されていない。
賛否を中立的に討論すべきであるのに、コーディネーターが賛成寄りの進行の仕方であったため、時間が足りなかったと思う。特に会場からの質問を受ける時間が足りなかった。
討論の内容についていけない。
一般の人にはわかりにくいし、時間は短い。
時間が長すぎる。
テーマと関係のない話しが多い。
推進派を中心に行われているように思った。
内容が専門的で理解しづらい。
反対派の方が、その考えの先生とつるんでいるようで変な感じがした。
原子力利用に対する反対意見ばかりでプルサーマル自体の内容でなかった。
反対派の意見はあまりにも論点がずれている。がっかりだ。
【良くなかった】
コーディネーターが推進側に組して公平でなかった。
まずはエネルギー利用の節減の国際枠組みから逸脱していることを明らかにすべきである。
地震の専門家がいないのでは実証的な話ができない。
高速増殖炉もんじゅ事故が起きて、研究が40年遅れるその間に伊方の軽水炉が必要という主旨であることが良くわかった。
時間が足りない。もっと時間をかけて議論すべき。
反対派ばかりの意見でしかも論点が外れているものばかり。
反対派のやじがよくない。その結果推進派の意見がなんの理由もなくしいたげられる。
参加者に対する制約が厳しい気がした。
生活レベルの話が少なかった。
話がよくわからない。
反対パネリストの議論のすりかえが多くむだな時間だった。
【未記入】
もっと深く内容を議論してもらいたかった。核不拡散については、今回は時間を少しにしたらよかった。
反対意見がたくさん出た。
私たち一人一人の安全・生命について語ってください。経済性という言葉で全てを語らないでください。リスクは負いたくありません。
国のオペレーターはいらない。推進派が増えているだけだと思う。加戸知事の発言はショックだった。技術的なことがわからないなら、プルサーマルを受け入れる判断は出来ないのではないかと。
パネリストへの質問で、賛成派・反対派の先生方にも少し割り振ってお答えしてもらおうようコーディネーターは配慮してほしい。
賛成反対両方の論者を取り混ぜていたのはよかった。
プルサーマルの技術面、安全面の基本的な考えを持つことができた。
意見を聞いたのはよかった。どっちがよいかははっきり分からない。
自論の展開をただけか？

南予(伊方町以外)

【良かった】

専門的な意見の時間が少ない。
改めて勉強することが出来た。
意見が高まる。
賛成の立場、反対の立場の討論が具体的だった。
プラス面マイナス面がわかったと思う。
いろいろな意見が聞けて良かった。しかし、パネリストの発言中に「やじ」を飛ばすのはだめだと思う。
いろいろな考え方や意見が聞けた。
不安点の質疑対応。
安全性に対する技術的な対応が出来ていることが解った。
パネリストが熱心に言っていた。
メリット、デメリットがよくわかった。
県民の生の声が映像で流れたこと。
国際問題、エネルギー問題、国策、安全性等についてパネリストの各々の先生の意見が良く理解できた。核拡散・国際・エネルギー問題に偏っていたところがある。
賛成、慎重各々の方の意見を十分に聞けた。
内容的には満足できるものと思うが、長時間の拘束についてはもう少し考慮して欲しい。
反対する方(パネリスト)の考え方が浅いことがわかった。問題ないことを無理に大きくしている感じがする。
技術的な観点からの説明が多くあってわかりやすかった。
技術的、経済性等について現状の見解を聞くことができてよかった。
内容がわかった。これで3回勉強している。
賛成、反対両方の立場の意見が聞けた。
世間一般論を聞くことができた。
否定的な意見についても十分に取り上げていた。むしろ否定的意見に要した時間のほうが長かった。
賛否の根拠の違いがわかったが、噛み合わないようだ。質疑応答でも特定の意見の人たちが多く発言されていた。
図等を使用し、説明があり分かりやすかった。
反対されている人の技術的資料が乏しい。
いろいろな意見が出てよかった。理解が深まった。
ブルサーマルの必要性、安全性について理解できた。
技術的な話を聞けました。
いろいろな考え方があるのが分かった。
専門家が反対、賛成といろんな角度から見ているのが良かったが、私の頭の中はパニックになった。
各パネラーの立場で情報提供していただきました。日本においてどうするのかを考えていく材料としてオープン化してもらったので良かったです。
安全性について少しは認識が深まった。
参加した人の理解度は別として、開かれた会議を行うことが重要。
型に入らない討論であった(生の議論であった)。

【まあまあ良かった】

推進派の新しい知見を聞くことが出来た。
推進派のパネリストの考えを聞けたこと。
原発慎重派の意見を取り上げたのは良かったのですが、加戸知事の見解を表明させないのは可笑しいと思います。
問題内容がいまひとつ分からなかったが、理解できた。
いろいろな考え方見方があり、メリットデメリットも分かりました。
いろいろな考え方があるのが分かったが、話がそれていることが多く、また内容がむずかしかった。
知らない部分を聞けてよかった。
反対派の議論にならない反対理由が明確になった。
多くの人の意見を聞けたことは良かった。少しかけあしだったので、難しいところが多々あった。
推進派と慎重派の意見を聞けた。
メリット、デメリットが分ったような気がする。
パネリストの熱意が伝わってきて勉強になった。
知識が深まった。
賛成派慎重派反対派のパネリストが参加していた。
推進側と反対側の両方の意見を聞くことができた。
推進派慎重派双方の意見が十分に出ていて良かった。但し、ブルサーマルの必要性とはテーマがずれたパネリストの意見が多かったのは良くなかった。

プルサーマルとは何だということが良く理解できた。  
賛成、反対の意見がわかった。  
多角的な意見があり、参考になった。  
小林先生の説明がわかりやすかった。  
パネリストによる生の討論が聞けてよかった。  
反対意見、賛成意見との見解を知ることができた。  
プルサーマルについての必要性、安全性、何故四電が採用しなければならないか、化学技術と国の政策についての矛盾性が少なからず分かった。  
反対派パネリストの話は感情論が多すぎる。参考にならない。もっと具体的な技術論を聞きたい。  
反対論者の意見の発表。  
問題点が明確になった。  
プルサーマルについて燃料の再利用ということしか知らなかったので今回参加することで賛成、反対の両意見を聞くことができ、どういう点で問題となっているかが分かった。

【普通】

賛否両論あり。  
実際関心のなかったことなので参加させていただいたことで勉強になった。  
パネリストの意見がプルサーマル討論会とずれているのが多かった。  
水掛け論的な議論に終始し、プルサーマルに関する本来の理解促進につながりにくい感じがした。

【あまり良くなかった】

プルサーマルではなく原子力の反対という意見が多くあきあきした。  
パネリストの準備不足。  
焦点が飛びすぎている。  
パネリストの発言がプルサーマルからずれているのが多かった。  
地震と老朽化、プルサーマルによる安全余裕の減少などに答えられる学者を参加させていない。  
議論されつくしていない感あり。もっと機会を増やすべき。  
パネラー多すぎる。論点が定まってない。

【良くなかった】

内容が難しい。

伊方町

【良かった】

推進派、反推進派の意見を十分に聞くことができた。  
プルサーマルのことが良く理解できた。  
賛成、反対両陣営パネリストの話を同時に聞いて、自分なりに判断できた。  
反対派の意見は抽象論でありインパクトのうすいものである。  
必要性安全性の理解が深まった。  
論点がずれたまま論争が熱くなるような場面が多々ありあまり良い気持ちはしなかった。  
県は原子力の専門ではないと知事が発言されたが、本音が出た点。これは県の姿勢として好ましくない。改めるべきであろう。  
必要性、安全性がよく理解できた。特に内山さん山名さんの発言がわかりやすかった。  
質疑応答に多くの時間を割いている。  
良いところ、悪いところについて、いろんな意見を聞くことができた。  
パネリストが一般に分かりやすく話をしてくれた。  
推進派と反対派の意見が聞けた。  
議論が発散しないようポイントを絞っていた。  
慎重派の活発な意見からプルサーマルの問題点が改めて分かった。  
今日の討論会は反対意見のほうが判りやすかったと思う。  
議論がつくされた。  
推進派パネリスト慎重派パネリストそれぞれの見解が聞けてよかった。  
論点がうまく整理されていた。

【まあまあ良かった】

内容は良かったが会場が問題あり(音響・いす)。  
伊方町で6月4日国開催にも参加したが今回の方が推進、慎重両者の意見見解が分かりやすかった。  
推進意見と反対意見が聞けた。  
両方の話を聞けてよかった。  
概念としては理解ができたと思うが、技術的なことはわからないままで…  
専門的な討議であり、一般にはわかりにくい勉強になった。  
プルサーマルの位置付けがよくわかった。  
2回参加して話が分かりやすい。

伊方町のときより深く討論できた。
賛成、反対の立場の考え方を聞くことができたので。
ブルサーマルについて理解が深まった。
【普通】
反対のパネリストを極論するので一般の人の誤解を招く。
賛成、反対色が強すぎる(パネラー)。
今日の公開討論会に来て自分には少し理解ができました。でも、必要性についてはまだ。
【あまり良くなかった】
反対派意見が多かった。
専門的すぎる。
慎重派のパネリストはブルサーマルというより原発そのものの反対意見に終始しており、議論が発散していた。
ブルサーマルに関する議論から外れる内容が多かった。
完全に平行線で単なる批評のし合いになっている。
【良くなかった】
慎重派のパネリストの発言は極論を言っており、内容的にちぐはぐだ。
パネリストの方の討論を公開する会ではあるが、参加者はもっと身近なところより討論をしたほうが良いと思う。

未記入

【良かった】
ブルサーマルを理解できた。
内容が少しずつ分かってきた。パネリストのそれぞれの言い分が分かってきました。
【まあまあ良かった】
原子力の専門家から具体的に賛否の論点を聞くことが出来た。
【普通】
賛否両論あってどう決めたらよいかわからない。
【あまり良くなかった】
コメントなし



Q3: 討論会は、あなたが持たれている疑問を十分にとりあげた内容でしたか。

東予

【そう感じる】

老朽化に伴うメンテナンスの人材の強化。  
必要性、安全性等十分にとりあげていた。

【だいたいそう感じる】

事故、地震のことなど取り上げて説明してくれた。  
電力の供給は分散して、使うところで作るように向かってほしい。  
プルサーマルは必要ない。  
難しく理解しかねます。

プルサーマルの点について話をしている、だいたいそう感じた。  
反対の人は、現代の考えから離れているのではと思います。  
新聞記事により、少しずつ疑問が明確になってきた。  
不安な点をずばり言ってくれるところもあった。  
リサイクルできることはしたらいいと考えていましたが、技術面でも問題点があるようでまずは安全で。  
難しかったが充実感を感じた。が少し時間不足を感じた。まだ充分理解できていないからなのか。  
地震の時の危険性をもつ。  
原子炉の安全性。

【どちらともいえない】

専門的でちょっと難しかったけどなんとなくわかった。  
全く逆の話が多かった。どこを信じてよいか。  
安全性に関して絶対意見と慎重意見に割れていた。  
以前はプルサーマルは技術的にも可能になったんだと、よいことだと思っていたが、この討論会に参加してちょっと待てよという感じになった。  
初めて参加したので今後勉強していきたい。  
反対の意見、質問が多くて良い点が理解しにくかった。  
何となく。

【あまりそう感じない】

理解しがたい点があった。  
会場内の意見を充分聞いてくれなかった様に思う。質問者は多かった。  
一連の事故以来、その説明が明確でないので国のずさんさが忘れられない。  
あまり関心がない。  
説明が不十分。  
専門的過ぎてわかりにくいところがあった。

【感じない】

一番関心の深い地震のパネラーがいない。

【未記入】

やはり私にとっては難しい説明内容でした。  
各先生方の熱弁を聞きながら、自分自身勉強をしていればよくわかったのではなかったらうかと思えます。残念でした。

中予

【そう感じる】

住民への理解を深められた。  
両者の意見を聞くことによって具体性(数字の扱いなどの差)が理解できた。  
経済性・安全性のことが理解できた。  
新エネルギー開発の問題や日本を含め国際的なエネルギー情勢より。  
危険性。  
経済面。  
経済性・安全性。  
技術的なことがパネラーの説明でよくわかった。  
反対派の意見と、安全性に対する技術的に十分な裏づけがあることがわかった。  
安全であると思ってたのであまり疑問はなかった。  
プルサーマルのことがよく分かっていなかったが、色々分かって良かった。  
プルサーマルの必要性、安全性の専門的なところがよく分かった。  
安全性、経済性について充分議論されていた。

安全性や必要について十分取り上げた内容だった。
プルサーマルの安全性、必要性について詳しく聞けた。
反対する側の論点がそのとおりかどうか確認できた点。安全審査で審査済な点が殆どだったことがわかった。
危険性の質問がきちんと説明されていた。
反対論者も出席して意見を述べそれに答える形でまとめられていたから。
必要性、安全性についての説明があった。
反対者のマイナス思考が納得できない。
必要性に関する専門的な知見を聞くことができた。
安全性。
安全性について。
不安が必要ないことが充分理解できた。
必要性、安全性など全般。
プルサーマルの必要性、安全性、メリット、リサイクル、世界情勢の説明があり理解しやすかった。
日本のエネルギー資源を踏まえた選択。
国の原子力対策がパネラーの説明でよく分かった。
討論により、議論の比較、検討ができる。
安全性、経済性。
プルサーマルをする上での必要性や危険性の点が解消された。
推進派の先生の定性的、定量的説明により、今まで分からなかった疑問が充分にとりあげられていてよく理解できた。
必要性、安全性。
必要性和安全性をうまくとりあげられていてよかった。
論点整理。
プルサーマルについての必要性、安全性について重点が置かれた討論であった。
技術的な点についてよく理解できた。
プルサーマルの取り出し方、使用方法など説明を聞き分かりました。
事実をどう見るのか、その見方によって推進となったり慎重になったりすると思う。特に必要性の面では直接処分との関係でとても参考になった。
安全性が理解できた。
それぞれのパネリストの視点、考え方によって疑問を十分にとりあげた討論だった。
プルサーマルの危険性を確信した。
プルサーマルの必要性、安全性が関心事でしたが、十分に説明された。
良い面、悪い面について両方がはっきり聞けた。
具体的な話が聞けた。
【だいたいそう感じる】
技術的に安全性というか、政治的に多少偏った意見が多かったように思った。
安全と必要性。
よくわからなかったことが理解できた。
コーディネーターがよかった。反対派の独占を許さなかった。
安全かどうかという点。
小林先生が「技術屋が技術面から話すだけの問題でない」とおっしゃったのが印象的。確かにプルサーマルって技術だけの問題じゃないなと思った。
具体的な数値をわからない値も含めて聞きやすかった。
安全性について疑問が益々深まった。
プルトニウム利用の必要性・安全性。
安全であるという確証は全くないこと、不安材料がいっぱいであることがわかりました。県は直ちに撤回するよう働きかけてください。
プルサーマルの基本的なことについて理解を深められた。
安全性、必要性が理解できた。
論点が整理されており、各々について一定の説明がされていた。
プルサーマルのメリット、デメリットの両方を詳しく知ることができた。
専門家の間でも意見が分かれる問題であること、また長期的に見ると慎重派の意見の通りであることがよく分かった。
安全かどうかの点。
プルサーマル導入によりどんなリスクを背負うのか。
プルサーマルの必要性。

安全性(燃焼棒など)。
それぞれの論点が明確。
マイナス点は、核兵器につながる論点で討論されたこと。
安全性について疑問が解けた。
わからないことが解決した。
パネラーの話で理解できた。
話が拡散してポイントが不明確になった一面がある。伊方でのプルサーマルについての設備が不十分になってしまっている。
プルサーマルの設計の妥当性と安全余裕の考え方が理解できた。
安全性について。
必要性安全性については総論的に理解できた。
危ないようには思わない。
論点の取り上げ方の相違を比較できた。
1番は安全かどうか。はっきりしたことは分からない。
ぼんやりしていた問題がはっきりした。
核の拡散問題との矛盾。
色々な角度から討論していただいたから。
プルサーマルの問題点(課題)をまとめていて、比較的論点が分かりやすかった。
賛否両論が出たこと。
エネルギーの必要性、安全性。
反対意見が多いようだが、結果的には実施されるだろう。
プルサーマル計画の必要性、安全性、プルトニウムの利用について。
プルサーマルの安全性。
安全性、将来性。
危険性の高いプルトニウムを核燃料サイクルに組み込んで、十分に管理された原発で、安全に燃焼させることが理解できた。
推進と反対の立場をはっきり主張された(パネリストの方から)。
プルサーマルの全体像がどのようなものであるかを知ることが出来る内容であったと思う。
疑問そのものがそうはない。
【どちらともいえない】
伊方ならどうだという話をもっと聞きたかった。
パネラーの説明がわかりにくかった。
これだけ意見が分かれています、日本の将来のエネルギー確保は危しい。
基本的な考え方の違いで、パネリストの方々の考え方が違うと思います。日本の国がどのような方向にむかっているのか、行けばいいのか、まだ判断できません。
難しすぎる。
十分深めることは出来なかった。1回の討論会ではムリ。
プルサーマルの観点のみでなく、原発の安全性について耐震性の議論を深めてほしかった。
原子力に対する基礎的な知識が不十分なため。
このような討論会は一回でなく何回も行うべきである。机上の空論ではいけない。
住民の意見について、いろいろ聞けた。
地震に関する討論はもっとあった方がいいと思う。
技術的な部分は専門的であり理解が難しかった。
意見の取り上げ方が違ってプルサーマルのことに集中していないから。
主催者がプルサーマル賛成の立場で話をしているのが気になった。
話が難しい。
専門用語が飛び交い一般県民とレベルがちがすぎる。
原子力は難しい。
反対しているパネラーの方が話が分かりにくい。
パネルディスカッションのパネリストの話が飛びすぎて分かりにくい。
目新しい情報が少なかった。
もっと議論の必要あり。
電力使用量は増加する一方だと思われるが、プルサーマルが駄目な場合の代替案が何もとりあげられなかった。
【あまりそう感じない】
エネルギー問題といってもプルサーマルでは1Wも出力は増えない。80年分のウランが88年分になるだけ。

耐震安全性に関する議論が少なすぎる。  
必要性・安全性を端的に議論されていない。  
ただの意見としてしか聞けない。疑問点の改善にはなっていない。  
「安全である」という確信が得られなかった。  
一つ一つの問題にパネリストの回答が的を射ていない。  
安全性の討論の時間が少なすぎた。県民は資源より安全性を聞きたいと思う。  
必要性が、わかったようでわからない。  
議論がかみ合っていないような気がします。  
質疑応答の時間に意見の表明をする人が多く、質問をしたかったのにできなかった。  
安全性でなく危険性の説明が少ない。  
賛成反対話がバラバラ。何が本当か分からない。  
パネラーの意見が食い違っていて真実がわからない。  
複雑なことなのですべて理解できない。  
現時点での必要性は疑問。  
本当はいったい誰のために、何のために必要なのか？そもそも原子力発電自体、一部の科学者、政界人、財界人のため？

【感じない】

どのような危険性があるのか語られなかった。  
プルサーマルと地震の問題は別との答え。プルサーマルで危険が増すのだから関係は大あり。  
地震に関して数値をあげての説明がなかった。  
地震が必ず近いうちに起こるとい地域で原発があること自体考えられません。  
安全性は多様な事柄がおきることに対応することで必ず後追いになることが良くわかりました。  
技術的に安全は保てないこと。地震の問題について賛成者は言及しない。  
使用済MOX燃料問題という、伊方にとって現実的な問題が話題にならなかった。  
県が意見を言わない。  
伊方の導入はできないのか。  
基本的な疑問に答えてもらえなかった。  
伊方でプルサーマルという個別具体的な視点に欠けていなかったか。  
どうして四国電力なのか。  
安全性についての反対派学者を配置していない。  
住民の安全、安心がないがしろになっている。  
地震の問題がなかった。  
活断層や地震の問題でのパネリストがいなかった。  
事故の危険性がどうなのか明らかにすべきと思う。  
イデオロギーの衝突のみ。  
重要な内容について、話がされていない。  
安全か安全でないかの議論が全くなかった。  
安全性について確立しているとは認識できなかった。

【未記入】

危険だと思っていたが、絶対に撤回すべきだと思った。  
プルサーマル、プルトニウム、MOX、ウラン等々問題に上りますが原子力発電は大切です。

南予(伊方町以外)

【そう感じる】

安全性や必要性において感じる。  
必要性、安全性について理解できた。  
原子力の安全性について技術レベルの認識ができた。  
必要性と安全性について十分説明があった。  
必要性について詳しいことがわかった。  
推進派、慎重派双方の意見を聞くことができたため。  
賛成、反対の意見は参考になった。  
技術面、経済面、政治面で総合的に感じた。  
私が疑問に思っているいろいろな意見が出た。必要性を感じた。  
必要性、安全性、経済性を十分取り上げてもらった。

【だいたいそう感じる】

経済性と安全性を論点にした。  
耐震性の話をもう少し聞きたかった。

専門的なことが少し分かってきた。
安全面について。
原発慎重派の意見を取り上げただけで無く、プルサーマル計画を不安に思っている市民が多かったのが印象に残りました。
メリット、デメリット等が少し分かった。
反対派が論ずる安全性については感情的説明であり参考にならない。かみ合わない討論会、県民の評価の参考となったかどうかは疑問である。
危険だけをあおるだけの言い訳無しの反対意見についてはいただけない。
慎重派、推進派どちらとも意見から、疑問をそれぞれ取り上げていたと思います。
安全性と必要性について重点的に討議された。
専門的なことはわからない。
安全であると感じた。
安全性、経済性等必要な討論はされていた。
専門的なパネリストより賛否の内容を聞いた。
必要性や安全性について、深く詳細に取り上げていたから。
【どちらともいえない】
当事業者の答弁がない。
専門家にも考えの違いがある。
疑問に対する答えもあったかもしれないが、話言葉が理屈っぽくて理解が難しかった。
賛成する人たちの話だけでは話がいきすぎるけど反対派の話も聞いた中で中身の重さを感じました。
パネリストどうしの言い争いでつまらなかった。
パネリストの考えが平行線になったまま。
専門用語が多く、専門家間の議論が多かったように思う。
IAEAの話などがあり、総合的な話が多かった。
プルサーマル必要者と反対者との論点があはつきり理解できない。
今後のエネルギー問題について反対派の方は何も意見が言わず、代替案もなかったのがっかりした。
質問の時間が限定されているので、疑問は残っています。
パネリスト各々が理路整然としておりどちらが正しいか惑わされる。結論的なものは出ない。
【あまりそう感じない】
推進派の人たちの感性がどのようなものをいろいろ考えさせられることが面白かった。
プルサーマルを入れた後の審査等について不十分。
今日出ていないデータや情報を危惧した。
論点が整理されていない。パネリストの説明が的外れであり、後付が多い。
賛成、推進派の意見が不十分。
プルトニウムの核不拡散は問題外、それと地震対策。
焦点が定まっていないように感じた。
パネリストそれぞれの意見を述べる時間が短かった。
安全性についてプルサーマルの実践があるといいながら具体的に示さない。
専門的な話はよくわからないが、なんとなく不安なのは間違いない。安全性をもっとアピールしてほしい。
シンポジウムじゃないのだから、原子力に関して知識のない人にも分かりやすい話にしてもらいたい。
【感じない】
学者の中で賛成・反対の意見がありすぎる。安全について100%とならなくても10人中9人以上の賛成が必要とも思う。

伊方町

【そう感じる】

専門家の話により。
山名先生の意見と説明が良かった。
賛成意見も反対意見も十分聞くことができた。
安全性、必要性に焦点が絞られていたと思う。
反対派の方が不安をあおる発言をしたが、先生方が的確に回答し、疑問が解けた。
安全性について。
会場からの質疑応答。
正論の3名の先生と反対の3名の先生の討論で大変理解できた。
安全が分かった。
必要性、安全性がよく分かった。

【だいたいそう感じる】

必要性と安全性の両点からの視点で討論が行われ、必要性・安全性共に感じる事ができた。  
推進と反対の意見を両方確認でき良かった。

コストに関して。

安全な点。

要点を絞った討論がされたので。

プルサーマルについての大きな疑問(必要性、安全性)に関する内容であった。

プルサーマルについての考え方に違いがあったこと。

安全上の問題点がどこか争点がどこにあるのか認識できた。

プルサーマルの内容は分かりました。

安全性問題。

【どちらともいえない】

危険性について議論してほしい。地震対策面を議論してほしい。

反対派は技術的裏付けがない。

最終処分が決まっていない。

【あまりそう感じない】

それぞれの立場を強調しすぎるのでは。

【感じない】

コメントなし

Q4: プルサーマルが必要かどうかについて、あなたの理解は深まりましたか。

東予

【深まった】

将来のことを考えてプルサーマルが必要。
燃料のリサイクルが必要であることが理解できた。
必要性を理解できた。
討論会で聞いていて必要だと思う。
計画どおりの導入を望む。
必要ないと思います。省エネをもっとしてゆきたい。
絶対反対。知事は現時点で許可しないで。
必要性の検討が優先され、安全性が従になることの疑問。伊方の軽水炉で使用するのには反対。
不必要。
なぜ他の電力会社ではないのか？

【だいたい深まった】

リサイクルするのは、資源の大切さを考え、いいことだ。
資源の点から、必要性があることは理解できた。
資源の少ない日本では、安全を第一にしてプルサーマルを実施しなければいけないと思った。
次の世代のエネルギーを考えると必要では…
必要性を感じた。
不必要だと思います。
プルサーマルって言葉は聞くが、はっきりは知らず答えられなかった。
パネリスト5名が各3人VS3人で分かれていたが今後のエネルギー問題について県、電力会社、又は国がプルサーマルが全ての面でよければ進めるべきで問題がある場合は急ぐべきではない。

【少しは深まった】

燃料不足によって必要。
ぜひ必要である。
必要だと思うのに、不安が残る。
限られた資源を安定・安全に確保し、安心できるように。
将来の資源確保のために必要かもしれないが、経済的にどうかと思う。
必要ないし耐震性に問題がある。
必要かどうかはまだ理解できない。メリット、デメリットが判断できない。
安全性を第一に考えてほしいと思う。
安全について心配である。
もっと多くの人に充分意見、疑問を聞いて優しく答えてもらいたい。
伊方で発電されても関西地区の方へ電力が行くのは疑問に思う。

【あまり深まらなかった】

プルサーマルは将来的には必要であることは理解できる。
ほかの国が減らそうとしているのだから強いてするものではない。
リスクのあるプルサーマルを取り入れるのはやはり反対である。
何となく。

【深まらなかった】

危険性のほうを重視。
------------

【未記入】

反対の人たちは将来のエネルギーをどう補うのか聞かせてもらいたい。
安全を第一にしてくださいにくれぐれもお願いします。

中予

【深まった】

限りある資源を有効活用する点。
基本を守って安全に今後も推進してもらいたい。
安全性に十分気をつけてもらえば、必要性はあると思う。
ウランでなくプルトニウムを使うからダメとの主張は非理論的過ぎて理解できない。
資源の有効利用の観点から必要。
エネルギー大国として原子力の有効利用は必要。
資源の有効利用、省資源、核物質の不拡散管理等全般的に見て必要。
山名パネリストの説明がわかりやすく、よく理解できた。

資源のサイクルを考えると必要であると思う。
必要だと思う。
資源の少ないわが国にとって、プルサーマルは有効である。
エネルギー安全保障の観点から必要である。
エネルギー依存度4%の日本では是非必要。
ウラン資源の有効活用は大切であるのでプルサーマルは必要。
必要と思う問題を後に回さない。
海外への依存度を少しでも低めるには必要だと思う。
資源はなくなるものであるので、より長く使用できるよう再利用が必要だと思った。
資源のない国、リサイクルできるものはすべきである。
原子力発電が主となり、資源のない日本はリサイクルが必要。
電力の安定供給から必要と思う。
高速炉への移行までの段階としてプルサーマルの必要性が理解できた。
必要と感じるが、安全性については疑問があり。
原子力利用を続ける限り、避けて通れないと思った。
今後のエネルギー確保からも必要性は高いと感じた。
これからの燃料事情からすると、必要と思う。
日本はエネルギーがない国。何からでも確保しないと大変なことになる。
資源の有効利用と技術開発につながる。
必要である。
エネルギーの自給率が少ない日本にとってやはりプルサーマルは必要だと思った。
必要性について十分理解できた。
エネルギー消費が拡大する以上、必要である。
資源論から、また放射性廃棄物の管理の面からも必要であると理解した。
エネルギーの大黒柱。絶対必要。
人類の使用可能なエネルギーに限界があり、プルトニウムの利用の重要性が良く分かった。
現在の中東情勢やアジア諸国の原油需要増大を考え絶対に必要。
資源の少ない日本では利用すべき。
それなりにプルサーマルは必要である。
今後のエネルギー問題のために必要だと思う。
エネルギーの一つとして必要。
プルサーマルはやはり必要。
山名先生、内山先生のお話でよく理解できた。
無知だったので何が必要か分かった。
経済性、安定供給の面からも必要であると思う。
自国資源のほとんどない、日本においてはどうしても再利用することは大切。
電気の重要性和資源の有効活用について。
安全に推進願う。
リサイクル。多少お金をつぎ込んででもリサイクルを進める。
プルサーマルの有効利用及び廃棄物の対外的管理、海外機関による監視の点から重要。
エネルギーのない国だ。電気は大切。
プルサーマルの安全性についても充分考え、今後のエネルギー事情を考えても絶対必要である。
必要である。
使用済み燃料の再利用可能な部分をリサイクルする事で採集期間に制限がある燃料を有効利用する事の大切さがわかり、理解が深まった。
資源の少ない我が国において、必要であると感じた。
必要。
エネルギーの安定供給確保で必要と考える。
地球の未来、人類文明の将来に必ず必要であるという理解ができた。
資源の乏しい日本では是非必要だと思うし、エネルギーの自給率の向上を目指すことは必要だと思う。
効率性を考えると、現在の四国経済に必要。
現下のエネルギー事情をまともに受け止めれば当然だと思う。
燃料の有効活用で必要だと思った。
プルサーマルは実施すべきであると思う。
エネルギーの安定化のためにも原子力技術は必要。
資源のない日本にとってエネルギー対策CO2対策で必要。
経済性においても使用燃料利用するのが有効という話、納得です。



プルサーマルは単にウランの寿命を延ばすというだけでなく減容化を図るという点でとても有意義な方法であると感じた。
エネルギーのない日本では、リサイクルは必要。
軽水炉から高速炉への移行段階において必要不可欠なものである。ただし高速炉での運用が十二分に安全性を保つことが将来的に可能かが大きな問題として残る。
日本のエネルギー自給率を考えると必要だと思う。
資源に乏しい日本にとって有効な方策のひとつだと思う。
日本の現状を考える上で、必要である。
必要不可欠なもの！
資源の少ない日本では必要と理解した。
節約にならず、全く必要と思えない。
全く必要ない。
必要かもしれないが、愛媛で行う必要性はない。
今の環境などの行き詰まった中では、生活の見直しこそ必要で、プルサーマルは必要ないことがよくわかった。
プルサーマルは危険をおかしてまでする必要のないものだった。
反対。
経済的にも、エネルギー的にも必要ではない。
今すべきことでないと感じた。
【だいたい深まった】
高速増殖炉が商業ベースに乗って稼働できるまでは必要。
必要だと思う。
リサイクルの観点、エネルギー確保等から必要だと思う。
これからのエネルギー問題を考えると、リサイクルしていくことも必要かと思う。
資源の乏しい中での必要大である。
再利用できるものは再利用すべきと考える。
再利用できて廃棄物が少なくなり、かつ安全であれば進めるべきである。
エネルギー資源を海外に頼っているのだから、世界レベルの近代化のためには限られた物質を再利用すべきであるから、必要かと思う。
化石燃料の使用を抑制するため。
エネルギーの安定供給について原子力が必要。
必要。
エネルギー有効利用、原子力の長期利用の視点から必要。
日本が原子力、平和利用のトップランナーとして世界のためにも実施すべき。
必要だと思う。
安全性を前提に必要を感じる。
安全性を優先して供給できるならばプルサーマルは必要。
必要。
国の施策を信じてみればいいのではないかと。
エネルギーの安定供給と環境適合性からは必要であるが安全面で不安が残る。
必要。
世界のエネルギー事情から見て安全を優先させ導入すべきか。
資源の再利用という観点で良かった。
将来性を考えると必要であると思う。
前向きに取り入れるべきである。
必要である。総合的に見て。
現状の豊かさを追求すれば必要かもしれないが、新しい豊かさのモデルを作り、省エネを進めていけば原発そのものが不要なし。
将来的なことを考えてもあまり必要性はない。
プルサーマルの必要は全くありません。絶対やめるべきです。
必要でないことがわかった。
せいぜい10年～20年の資源節約にしかならないのなら不要である。多少の資源節約より安全が一番である。リスクゼロならいいが。
プルサーマルは必要ない。
メリットが少ない。
必要であるが未だ早いようだ。
国レベルでの詳細な説明がほしい。

必要とはいえませんが、経済的だと思う。
車でも航空機も危険でも利用する。電気を使わずして生活できない。まず、必要性のみを討論すべき。
費用対効果を見定めて適当性を判断してほしい。
簡単に必要かどうか結論付けられない。考える視点の参考になった。
今回の討論会だけでは一概に判断できない。
技術的な可能性があり有効ならばしてもよい。
国内で実験してからでも遅くない。
メリットとデメリットがよく分かった。
プルサーマルを行う前提となる核燃料サイクル(特にFBR)の実現の可能性をもっと知りたかった。
【少しは深まった】
必要性は大であるが、技術的に安全を確保するのに必要なものは何かを知りたい。
限りある資源の有効利用は大事な問題であると思う。
必要。
エネルギー不足の現状では多少リスクがあってもリサイクルする事は必要。
資源節約につながる。
エネルギー資源の安全供給。
使用済み燃料の処分量が大幅に減ることは効果がある。
我が国の実状からして採用やむなしか。
エネルギー資源の再利用という点ではメリットがある。
使えるものを使ってゴミを減らすのは家庭ゴミでも同じだと思う。
エネルギー自給率の低い日本では、現段階ではプルサーマルが必要ではないか。
必要である。資源小国としては原子力が主役にならざるを得ない。
将来的なエネルギーの確保のための必要悪か。
資源の自給率が低い以上何らかの対策が必要と思われる。
他の県が反対していることに愛媛県が賛成することはないし、必要ない。
プルサーマルは不必要と判断する。
プルサーマルは必要でなく、今の原発を安全に使ってほしい。
必要・不必要のことについては、何を大事にするかで考え方が変わると思います。まだまだ、いろんな討議を聞いて判断したい。時期尚早であると思います。
廃棄物的処理のためのものだった。
リサイクルが出来ること。低価格である。
少し疑問はある。
まず福井など原子力利用に積極的なところで実施してみて5～10年様子を見るべき。
総合的に理由があれば行うべき。
資料を読んだら分かると思う。
必要性と危険性リスクを比較した時本当に必要か。
不安。
必要性についてはどちらともいえないと思った。
もんじゅの計画が狂ったための代わりという意味で浮上したと理解した。
推進、反対のいずれの意見も、わかりやすい形で県民に紹介されるべきである(必要か否か)。
【あまり深まらなかった】
ウラン資源が本当に残りわずか、廃棄物の問題を考えると仕方がない必要性？
必ず必要になる時がある。
必要なのは分かる。原子力に反対なら電気を使えなくなる。
プルサーマルは必要でない。
必要ではない。わざわざ危険を冒すことはない。資源から有効活用という面でも再利用するMOXにするエネルギー消費を考えるとそうは思わない。
危険性が大き過ぎるのでは。
プルサーマルは必要がなく絶対反対です。
経済性が悪化すると説明もあった。もし本当なら実施の必要なし。
必要なら燃料棒を1/4使用ではなく、全部使用できないのか？
反対派の意見が強く、プルサーマルが必要であっても、納得できる説明には至っていない。
賛成、反対派の意見が全然かみあわず、反対派は何が言いたいのか不明。
【深まらなかった】
エネルギーの面からは仕方がないと思うが、どう安全を確保するのが不明。
別に必要ではないと思う。
経済的にも、国際的にも必要性はないと思う。

やはり必要ではなかった。  
 プルトニウムの大量使用など危険が多い。やめるべきと思います。  
 必要ならプルサーマル専用炉を新設すべきではないか。  
 プルトニウムの再利用は理論上可能とされているが、あくまでも紙上の理論である。85年でなくなってしまう、放射能廃棄物の半減期は500年～1000年と考えられている。ウランがなくなっても毒物が残るばかりである。  
 電力の無駄な使い方については社会全体で考え直し改めるべきであるが電力が原発やプルサーマルに頼らなければならないというのは虚偽だ。  
 恐ろしいプルトニウムを使っての発電はやめてほしい。  
 プルサーマルはダメとわかった。  
 必要ないと感じた。  
 必要ないと思います。国の言うことは信用できません。  
 プルサーマルの必要はないと思う。  
 私は反対であるがこの討論で賛成の学者の説明を聞いてもやはり賛成側に心が変わることはなかった。  
 必要性は全くないことがわかった。  
 反対。必要ない。  
 不要性についての認識が高まった。少し設問がおかしい。  
 質問がおかしい。プルサーマルが必要であるとの前提にたっている。  
 プルサーマルは危険。  
 必要かも知れないが安全性面からもプルサーマルはするべきではない。  
 必要ない、やめるべきだ。  
 必要でないことの理解が深まった。  
 不必要！危険を伴う事はできるだけ避けるのが当然の事。安全性第一が一番重要。  
 必要性を感じない。  
 もともと十分に理解している。

〔未記入〕

電化製品一杯の世の中には原子力発電が必要なのです。  
 安全を第一にプルサーマルで安定した供給をと思う。  
 必要である。  
 保有エネルギー資源として利用すべき。  
 リサイクルはエネルギーの面にも必要なんだと感じ、必要性について理解が深まった。  
 資源のない国だから安全であればプルサーマルを使えばよい。  
 まだ安全性のはっきりしていないものを導入すべきではない。  
 必要でないことがわかった。  
 現段階では反対。  
 このアンケートはどう答えたらいいのでしょうか。プルサーマルが必要でない、リスクを負いたくないという気持ちを強くしました。  
 プルサーマルは必要ないので中止するべきである。  
 原子力のゴミ処理をきちんと考えるべき。  
 プルサーマルは100%不必要。  
 全国各地でストップしているのにどうして伊方なのか疑問が深まってきた。  
 不安が深まった。  
 まだわからない。

南予(伊方町以外)

〔深まった〕

必要だと思う。資源のない日本、輸出(自動車、電機製品)で豊かな日本。MOXを受け入れるべきだと思う。  
 使用可能な資源は再使用すべきである。特に日本においては。  
 資源的な背景やエネルギーセキュリティ上原子力は必要であり、プルサーマルも原子力の有効利用につながるものと思う。  
 エネルギーの少ない我国においては絶対必要。  
 資源がとばしく最近原油が75ドルを超える時代にプルサーマルは必要。  
 日本のエネルギー自給率を考えれば、プルサーマルは必要だと思う。  
 ウランが有限物質である以上、プルサーマルは必要と考える。  
 リサイクルの時代であるから早く具体化し、少しでも電気料を安くすべきである。  
 少資源の日本ではプルサーマル、FBRを進めるべき。

必要性については良いが実証性については疑問。
日本には必要がある。
他資源や自然エネルギーとの組み合わせは絶対必要であるが、効率的な発電は当然である。
将来の安全な技術が確立されるまでの有効な技術であると確信した。
資源の有効利用の点から実施したほうが良い。
反対派の方達は未来のエネルギー問題をどう考えているのか聞きたいと思う。
有効利用できるものは活用する。一般的な考えです。
必要だと感じた。
プルサーマルを含め今後とも原子力発電に関する研究を進めFBRの開発が必要なこと。
日本資源が少ないので是非必要と考える。
リサイクルの意味で必要。
絶対必要。
プルサーマルは必要だ。
原子力の必要性は感じたが、プルサーマルには疑問である。
必要ない。
伊方3号でどうしても推進する必要性には疑問を感じる。
技術上の話で実際に見えたものになっていないと思った。
必要なし。
安全性を最優先して判断すべき。
イデオロギー的なスタンスでの議論は現実的でない気がする。
【だいたい深まった】
必要と思うが事故が多すぎ。
安全性が確保されたうえで、エネルギーの確保は必要だと思う。環境の保全。
自分たちの生活を維持、守るためにも必要。
現実に必要な性を感じました。
他県に売るほどはいらぬし、今迄通りでいいのでは?とも思うけど資源のことを考えると必要なのかなとも思う。
エネルギー資源の乏しい我国では必要と感じた。
ウラン資源のリサイクルは必要だと思った。
資源のない日本には是非必要。
原子力を選択したとして、プルサーマルをやらないと原子力がたちゆきならないという絶対的な必要性が住民に伝わっていないのではないかと?必要性についてやらないよりはやったほうが良い程度でしか説明がされてないと思う。
【少しは深まった】
現状を考えれば必要かと...
再利用面から、必要と感じた。
安全性が確保されるのであれば、エネルギーの必要性を考えたときに必要なものではないでしょうか?
必要性というか重要性について認識できた。
国の政策のとばっちり感が四電にまわされた感が強く、本当に安全性で経済性の高い方策であれば積極的に進めるべきではないか。
資源(ウラン)の有効利用になると思うが、MOXでなければならないという理由があいまい。
まったく必要ない。
電力の節約を考えては?(使わない方法)
プルサーマルは必要ではないと思います。リスクが多すぎます。ここまで危険を冒してまで進める必要はないと思う。
分からない、難しい。エネルギーの安定供給のために、エネルギー源の海外依存からの脱却が必要というのは分かるが、感覚的に反対かなあ。
まずは、新エネルギーの開発よりも省エネでしょう。あるに越したことはないが、安全性はいずれ破壊される。100%はありません。
政治的課題と思う。
どちらでもいいと思う。あまり興味がない。
国防、エネルギー資源、政策、電力事情、核問題等、総合的な判断材料に関する意見が少ない。1地方だけの問題ではないため。
再処理は必要なのでは?
【あまり深まらなかった】
必要とは思いますが、代替エネルギー(環境に影響のない)が開発されると思う。
なぜ、伊方に導入するのか不明。

電気料金がそれで下げれるのか疑問である。  
必要性もあるが安全面を理解しがたい。  
【深まらなかった】  
安全性が分からない。  
必要でないと思う。地球の温度は上昇している。エネルギーの節約が望ましい。  
何よりも命の大切さが大前提だと思っている。  
絶対反対。  
なぜ今のままでいけないのか。  
【未記入】  
エネルギー問題、地球環境問題からプルサーマルは必要と思う。  
必要は無いと思います。あまりにも危険です。  
必要でないという理解がやや深まった。

伊方町

【深まった】

エネルギーセキュリティの確保、再処理を行い廃棄物の減量のため将来的にも必要。  
進めるべき。  
日本のエネルギー事情の観点から一時的にはあるが必要なものだと感じた。  
日本のエネルギー確保のため、プルサーマルは必要です。  
県も町も積極的に推進するべき。  
資源にも限りがあり、リサイクル等は地球にとって必要なこと。  
少資源国には絶対必要。  
省資源に少しでも役立つなら是非実施すべきと思った。  
現実性を考慮した方向がプルサーマルであることが理解できた。  
必要性を感じた。将来を考えて。  
自分自身は必要であると感じている。しかし反対派の方もたくさんいるということでこれ以降も慎重に進めてもらいたい。  
十分に安全性に気をつけてくださればだいたい理解できますが。  
資源がない国である。安全であることから必要。  
将来に対して責任を持って推進していくべきと強く感じた。  
プルサーマルを実施しなくても良いのでは。

【だいたい深まった】

我が国の資源事情から考えると必要性については理解できる。  
資源の問題より必要と思った。  
必要だと思う。反対派の人は反対のみでそれに対してどうするかを紹介がない。  
資源の乏しい我国で原子エネルギー源のリサイクルは大切と思う。  
現時点では必要ない時期尚早、実験炉の利用必要なし。  
日本のエネルギーを考えると。  
核不拡散が大きな問題であるのが理解できた。

【少しは深まった】

資源小国においてはやむを得ない。  
資源の再利用をきちんと行うことが必要。  
エネルギーは必要不可欠。電力の安全供給には必要。  
日本は資源不足。プルサーマル計画は賛成。しかし事故のことを考えると何とも言えない。  
FBRの実現までの間、プルトニウムを使用する必要がある。  
必要性は深まりました。でも気になるのは安全性です。住民の安全性を十分に気をつけてもらいたい。  
原子力政策を日本で統一すべきと思われます。

【あまり深まらなかった】

必要性より安全性のほうが私にとっては要であるので。  
【深まらなかった】  
コメントなし

Q5: プルサーマルが安全かどうかについて、あなたの理解は深まりましたか。

東予

【深まった】

原子炉の安全がプルサーマルでも十分に確保されていることが理解できた。

もともと安全と思っていた。

国や電力会社はもっと安全性のPRをすべき。

安全性も十分理解できた。

反対派の有識者の安全性への反対意見が科学的根拠に基づいていないと感じた。

確立は低いにしても、万が一のときは大変怖いと思う。

危険なことは中止して欲しい。

【だいたい深まった】

安全性評価。

身体に優しいのでプルサーマルは始めてよいと思う。

だいたい分かったがより安全について検討し対応してもらいたい。

県民が安全に暮らせるようにして下さい。自然を大切にして下さい。

伊方での安全性には疑問があり、と理解しました。

不安要素が少しでもあれば導入再考すべき。

【少しは深まった】

原子力リサイクル事故のないように慎重に。

科学技術は諸刃の剣である。安全性も求めればきりが無い。やるか、やらないか。OKするか、しないか。

パネリストの先生の意見を聞いてもう少し慎重に結論を出してほしい。

討論の中では全く安全とはいえない。

プルサーマルは危ないと思う。

危険な部分・不安も拭い去ることは出来ないと思う。

安全性はないと思う。

地震国であるだけに安全性に不安を感じる。

プルトニウムは核兵器として使われるのではないか。

MOXとプルサーマルとの違いをよく理解すべき。

【あまり深まらなかった】

安全性に関してはよく理解できかねた。

危険がともなうと思う。

【深まらなかった】

事故、地震、何十年後のことなど心配。他県と比較して愛媛の影響など気になります。

危険である。

活断層は抜きにしてプルサーマルは安全じゃない。

科学者、専門家で意見が異なるので不安増。

技術的な面は分からないから安全かどうか答えられない。パネリストの中にも安全に対しては不安があるといっている。

安全性に関しては分からない。

【未記入】

今までにも何度かお話を聞く機会がありましたが、安全に相当工夫されていることを聞いてきました。「もし…」のことを引きずっていると何事も前に問題は進まない。

未来の人たちのためにも安全第一で。

地震の安全性が心配。

安全でないのがよくわかった。

先生方の意見が3人3人に分かれているのでわからない。

まだはっきり分からないが不安が残る。

中予

【深まった】

万全な国の規制を求める。

現在の原子力発電と変わらず、安全だと思う。

色々な問題点はあるが、よく検討されていて安心した。

安全余裕はもう少しわかりやすく説明がほしい。

今の原子力と同じで、十分に安全に管理できると思う。

危険なものなので安全に使うことが大事。
何十年前前から外国で行われているが事故は起きていない。
推進派のパネリストの意見のほうが客観性があると思う。
設計・運転の上でも現設備で対応できるものだと思った。
エネルギー供給源として原子力が大きく貢献している今、資源をほとんど海外に依存している日本ではプルサーマルは必要と考える。
現在でも1/3はプルトニウムで作られているので問題はないと思う。
慎重派の方々から地震対策についての質問が多く、話の論点がすりかわっている場面が多く見受けられた。
地震に対して万全であること理解し安心しました。
もともと安全であると思っており、先生の話聞いてなお深まった。安全なプルサーマル計画になぜ反対する人がいるのかわからない。
十分に対策を取っていると感じた。
十分な安全余裕を有することが理解できた。
完全に安全とは思わないが、技術がかなり進んでいるようなので少し安心した。
普通の原子力となんら変わらないと思う。問題として取り上げるのが理解しがたい。
安全余裕の切りつめだという意見があったが、設計反映済だとわかり安心した。
危険なものを慎重に取り扱うのだから大丈夫である。そもそもリスクの考え方である。
欧州先進国では40年の実績あり、厳しい国の規制のもとで使用することは安全確保の道である。
確かに非安全側になるが、それに対して対策がとられている。
外国では40年くらい運転実績があるので問題ないと思う。
プルサーマルの導入については安全性に変化はない。
確実な管理でやれば安全性は確保できると思う。
安全余裕について理解できた。
より一層の安全を望む。
完全な安全は確立できないかもしれないがそれに近づける技術、計画を行っていることを知って安心した。合わせて技術の精進を推進してもらいたい。
安全を期していることが分かった。
理論的に十分な対応が出てきている。
専門的な知識を学べて理解できた。
安全性理解が充分深まった。
安全性について不安がなくなった。
安全に管理、利用、監視するための手法についての比較、考証ができた。
従来との安全性と変わらない。
安全。
充分安全性が確保されている。
安全性に絶対はないので、更なる安全対策を望みます。
安全性の論点がわかったというのではなく、安全であるということについてきちんと理解が深まった。
安全性について、下がるとは思えないため問題ないと思う。
山名教授の安全性は説得力がありました。
現行の原子力発電との違いはあまりないと思う。
ウランもプルサーマルもだいたい同じだと感じた。
ふつうの原子力発電とプルサーマル発電とはほぼ同じだと感じた。
特になし。
マスコミ報道がプルサーマル計画に反対するようなことが多い。反対に世論を誘導する傾向がある。
制御棒のきき、安全余裕度などMOX燃料にしたところほとんど危険度は増加しないという点がよく理解できた。
現在の燃料と同じように安全であることが理解できた。
安全についての議論が参考になった。
危険性もあるが、十分安全であるように理解した。
十分な安全性基準の中で計画されており、それを順守することが必要だと思う。
技術的な検討がなされた上で導入されようとしている。
ますます安全性は低下すると思う。
安全でないし、電力会社の広告がウソである。
100%安全なものではないので危険の発生率の問題であろう。
やはり危険であるとはっきり理解できた。
プルサーマルは伊方原発をより危険にする。将来のエネルギー問題もより困難にする。

とても危険なものだと分かり、絶対にみとめない。
専門家による、安全性の確認がされていないと感じた。
安全ではない。
伊予灘の地震の震源地であり伊方原発にプルサーマルを導入するのか疑問が残る。
安全でないことがよくわかった。危険である。
設計や運用で安全が保てると言っていたが、人間はミスを必ずするものだ。プルサーマルの安全性は確立していない。
反対派のパネラーに対しても全て対策が考えられていることが理解できた。
【だいたい深まった】
100点満点の安全性などあり得ない。80点ぐらいならよしとして日本の将来のエネルギーを強固なものにしていく努力を続けるべきである。
事故が起きても緊急停止するため。
自動車も運転しなければ交通事故は起こらないのと同じで、やらなければすべて安全というのはどうかと思う。
従来の原子炉と変わらず運転できること、安全性がわかった。
県も企業も安全を第一に考えてほしい。
今の原子力発電と比べてあまり変わらないと感じた。
現在の使用実績などから安全であることが理解できた。
安全対策については理解できたが、本質については疑問が残る。
原子力発電に携わる人の習熟度と機器等の発達により、安全性は高まると考えられ、十分期待は出来ると思います。
安全性は企業と国が責任を持つべきではないか。
安全に運用することは大前提、何をしてもこの部分は同じ。車の運転だって、一つ間違えると人を殺すことになる。ルールを守るから便利になるのであって、ルールを守ることに安全は成り立つ。
国の基準まで余裕があり安全と感じた。
安全審査や設計の妥当性について説得力があった。
安全余裕に関して数値的な説明があればもっと理解できた。
人為的ミスがなければ安全だと思う。
プルサーマルの使用方法和規則の遵守にかかっている。
技術面での努力、進歩、安全性については頭が下がる。ただ将来的に安全を管理している職員の方の管理能力が低下していないか心配。少子化や学力低下の問題から常々心配している。問題は尽きない。だから反対というものではない。責任感の強い人間を育てる事等国民全体の問題。
無事故を願うこと意外なし。
安全性に疑問がない。
専門家の知識を最大限に活用して想定外の有事にも対応できるように安全性を確保してほしい。
安全性の向上。
国から指摘された14項目についてあらゆる対策をしていることが分かった。
完璧な安全は存在しない。どこかで決断が必要。
安全性はさほど心配していない。
人為ミスが一番心配。電力職員、頼みましたぞ。
パネラーのコメントを踏まえると、安全性については、現状から大きく低下しないことがわかった(反対側には定量的な議論がなかった)。
少ない実践ではあるが、安全かと。しかし、慎重に対応すべき。安全面が最重要。
「原子炉を閉じ込める」等、安全に対する具体的対策が示されている。
適正な管理運用で安全は確保できる。
核が絡んでいる以上、又扱うのが人間である以上、絶対安全ということはないということがわかった。
問題が発生したときに想定外と言わないように。
安全性について専門的なことを言われていたが、説得力はあまりないと思った。
少なくともリスクが増えるものと理解した。
理解が深まれば深まるほどますます危険で、絶対伊方で実施するべきではない。直ちに撤回するべきであると確信を深めた。
不安感は除去できないので反対である。
安全でないことがわかった。
リスクゼロでないことが分かった。
安全性が悪いのは中止にすべきである。
日本でやるべきことではない。
商業的に導入するのは、試験をしっかりとってから対応して欲しい。



危険だとするパネリストの意見が専門的過ぎて難解。  
全体的に理解できない。  
安全性に100%を望むことは何よりもできない。  
安全に対してのもっと分かり易い説明がほしかった。

【少しは深まった】

何事においても100%の安全はあり得ない。ただ、事故が起きたとき被害をより少なくするには如何にすべきか。その為に技術の向上、安全性の向上を県民に公開してほしい。  
無条件下での安全性でなく、現状を踏まえた安全性を議論すべきである。  
プルサーマルが安全第一にて施工されることを希望します。  
安全だろうと思うが、外国のデータを示してほしい。  
そんなに問題にするようなことでない、日本の技術を信頼したい。  
他国で使用していて問題ないのであればOKだと思う。  
万が一の場合の対応が取れてればいいと思う。  
原発する以上、危険には変わりない。今までどおりの安全性を考慮してもらえばよい。  
安全では無いことが分かった。  
討論会を聞くまでもなく危険なことは確か。地震のことも考えると安全性は低いと思う。  
プルサーマルはリスクが高い。中止すべきである。  
技術的には可能だが完全だとは思えない。他国や他の電力会社の動向からしてもリスクをとまなう。  
技術上は理解できたが、地震は不明。  
もう少し詳しい説明が聞きたい。  
安全かどうかは実際に動いてみないとわからない。  
日常生活との関連を中心にした説明がほしい。  
理論の言い回しの違いだけであり、真実は神のみ知る所である。  
反対側も推進側も技術面で空理空論をたたかわせている印象だった。運転の実績、実験結果などに基づいた説得力のある主張が欲しかった(最後には説明があったがもっと初めに示すべき)。  
安全性を考える上での課題が十分に県民に説明されることを望む。  
微妙。

【あまり深まらなかった】

四電さんの地震の説明が本当なら安全かな。  
原発そのものが安全であればプルサーマルも同じレベル？安全性はあるのでしょうか。  
安全性は逆に深まった。原発そのものの老朽化の問題、地震の問題が議論されていない。  
安全性より必要性がよくわからない。  
伊方に限らず、他県でプルサーマルを実施しているのなら、日本としては！  
危険性があることは理解できた。安全確保の上利用を。  
地震のリスクの点では不安である。  
両者の差が大きすぎる。差が少なくなるまで実施を延ばすべき。  
一定の安全性が実証されるまで、ことを急ぐ必要はないのではないかと。  
安全ではないことがよくわかった。  
技術的に本当に安全なのか？疑問に感じる。  
国際道義に反する行為はよくないと思う。もっと技術的な裏づけが取れてからでも遅くないのでは？  
各々の主張に一理あり。知識の乏しい私には判断できかねる。  
内容がちくはぐで理解できない部分が多い。  
技術の問題にかかわってくるので難しい。  
もっと一般の人にもわかりやすいように文面よりも図にしてください。  
パネリストの話ではなく、四国電力が安全対策をどうするのか全く説明がなかった。  
半信半疑。館野先生、小林先生双方の意見を聞いて分からなくなりました。  
ありえない事故が発生したらどうなるのか不安である。

【深まらなかった】

十分な安全性を有している。  
今まで安全と言われている物でも事故は起きている。原発だけ完全に安全とは言えない。  
まったく安全とは思えない。県は独自の検討をすべき。  
プルサーマルの安全性はありえない。  
プルサーマルが安全なら世界中の原発で実施されるのではないかと。  
子孫に多量の放射能物質を残す行為は安全性の問題を超える。プルサーマルは必要でないと思う。  
核と人類は共存できない。コントロールができない。未来の人々に負の遺産を無責任に押し付けるものである。誰が責任を負うのか明らかにすべきである。  
プルサーマルは安全ではないということがわかった。

プルサーマルは危険とだけわかった。
安全性は危ないと思った。
この世に100%安全なものなどあるわけがない。ミスを犯さないということが前提なので、論議にならない。
ウランと変わらないから安全というのはあまりに乱暴な…
勇気を持ってこの計画を中止にし会場でも話題になった原子力使用の減力こそ大切。
どんなに聞いても安全とは思えない。
安全だとは理解できなかった。
将来に深刻な問題を残す計画をゴリ押しするべきではない。耐震、安全性など時間をかけて慎重に検討すべき。
運用ではカバーできない。技術的に絶対安全だとはいえないのが分かった。なぜ四国電力なのか。伊方や愛媛県民を犠牲にするかもしれないことがまかりとおるのか。
プルサーマルが安全とは思えない。
プルサーマルは危険なのでするべきではない。
安全だという中味が分からなかった。
安全でないことの理解が深まった。
危険性を、とても感じる。科学者の自己満足。政治行政の無責任さを感じる。長期的な思考が足りない。伊方は実験場とされている。
安全性に多くの問題があることから不安を感じた。
将来的に安全であると言い切れない。
わからない。
最後まで聞いても危険か安全か理解できなかった。
プルサーマルのウランに比べての物理的な特徴を知ったから。
100%安全というのはいくらもない話。いかに100%に近づけるのか、また、もし万が一の場合の影響について、きちんと議論して欲しい。
[未記入]
プルサーマルに限らず、100%安全というものはない。管理、制御の徹底を図り安全運転を心がけて欲しい。
安全にすすめてほしい。
安全に気をつけて電気を起こして。
プルサーマルの安全性については良いが、人為的な事故のないように取り扱いについて十分な注意が常に必要である。
国もきちんと審査しており、安全性は確保できると感じた。
事故が万が一でも起こったら終わりというようなことをすべきでない。
危険性が増すことがわかった。
安全性は全く感じられない。世の中で耐震偽装やアスベストやら、行政が認めたもので次々問題があるじゃないですか。安全基準は何ですか。事故が起こったらいったい誰が責任を取るの?! その時誰かのよう「想定外です」と言われるのでしょうか。
新聞等テレビや講演で分かっていますが、必要性は大。安全注意を。
深めているところ。
凡人にはどちらがいいか分からない。

南予(伊方町以外)

[深まった]

ほう酸、制御棒とも安全に余裕があることが分かった。
危険性を極力ゼロとするために万全の方策を。
技術的には安全な設計・運用をされていることがわかった。
従来のウラン燃料と大差なく、また差がある点も十分手当てがされている。
早期実現を望む。
幾重もの安全対策が講じられており安全性が理解できた。
安全確保に基づいたことであると考えております。
従来燃料とそう変わらないと思う。
まったく安全性に問題がないように思う。
取り扱いをちゃんとすれば安全だと思った。
国が安全審査にて確認しており、また今回の討論会の議論の中より安全性が理解できた。
安全だと思います。
安全性は十分に確保されている。

安全性は確保できると思った。  
何をしても十・一があり、それは使用する人の心の問題である。プラスにもっていく努力が大事。  
安全性はわずかではあるが悪化している。  
安全性に欠ける。  
突発的な事象が発生した時に決まったことだけが発生するわけではないのでは？  
やはり危険である。  
安全か不安かは決め所ではないが、深まったということは言える。

【だいたい深まった】  
日本は安全に活用できる技術を持っていると感じた。  
安全低下項目が明確となり技術的に評価対策を採っており現状のウラン燃料と遜色ない安全性は確保されていると思う。  
専門的なところはよく判らないが、慎重派の方も余裕は少なくなるが危険というほどではないと感じて安心した。  
問題点が明確化されており、安全に問題はない。  
人的事故が起きる心配がある。  
メリットは少ないと言われるのに、どうしてそうするのかと思う。  
人的ミスに対する安全の確保についてもっと知りたい。

【少しは深まった】  
安全確保をお願いしたいです。  
いかに管理すべきかが重要である。  
日本のプルサーマル計画は特に危険であると感じた。絶対計画中止すべきです。  
プルサーマルと耐震問題が重要視すると安全性に大きく影響が出るのではないかと。  
ウラン燃料より危険であることがわかった。  
プルトニウムの危険性等。  
素人には決定する時点にない。利害の優先か。  
ますます分からないところが増えました。  
安全か危険かはやってみないとわからない。  
問題になっている点がわかりにくい。地震に対してはこうとか具体的に聞きたい。  
化学者としての意見と国策としての意見に違いがあるように思われる。  
安全性などは専門家でなければ到底理解できるものではない。有事の際の責任の所在を前もって明確にすべきである。

【あまり深まらなかった】  
なぜ四電が？安全性についてもう少し実験を。  
安全ではないと色々な面で感じられた。  
自然界に無いものを作り出す事は危険。  
実験のように思う。  
安全ではないだろう。官僚主導型であるし、人材不足。  
プルサーマルの安全性について、伊方3号機での使用状態が不明確であった。  
安全かどうかは、地震も含め、起きてみないと分からない。

【深まらなかった】  
安全であるなら、東京・松山に建設すべし。なぜ出来ないのか。金で魂を買っているように感じる。  
時期尚早。今後も一般公開討論会を希望。  
原子力発電自体の安全性に疑問のある状態において、新しい試みは問題である。  
まったく安全性の確保が不十分で計画は不必要。  
事故になった場合の想定事項の考え方が全ての条件について考えられているかが？  
地震について。  
この討論会をもっと早く開いてほしかった。

【未記入】  
プルサーマルの安全性は確認されていると思った。なお十分にチェックしながら積極的に取り組んでいかなければならない。  
危険がある。  
地震と中性子吸収物質のホウ素(B)の拡散でひびが入るというように安全性は無いと思います。

伊方町

【深まった】  
既存のウラン燃料使用と大差ないことが理解できた。  
危険になるのは当たり前で、それを技術でカバーしている。

安全性については問題ないと思う(プルトニウムもウランも危険なものに変わりはない)ウランを扱う実績があるのでプルトニウムでも十分安全に扱えると思う。

小資源国の我国ではすみやかにプルサーマルを行iriサイクルすべき。またFBRを早期に実施すべきと考える。

反対意見が根拠ないことがわかった。

ウラン燃料と変わらないことが分かった。

国の審査において議論が尽くされているので問題ないと思った。

安全性については技術的に約束できていることが分かった。

今日の議論で若干の不安も解消された。

だいたい設計で考慮されている。

安全は確保できるが実施するメリットは少ないのでは。

十分に分かった。

もっと詳しく聞きたいが時間が足りない。

安全であることがよくわかった。

【だいたい深まった】

慎重な運転を実施するようにお願いします。

海外の実績。

十分な安全設計が取られていることを確認した。

安全性は大体分かった。

危険性についてはうすれたように思う。

6名の先生方の話でますます考えさせられます。

【少しは深まった】

現状と同じ。

安全性についてはだいたい理解できたが、安心の面で不安が残る。

結局、今の設備で安全は確保されているということか?

絶対的な安全性の確保は難しい。

安全性が充分確立されているように思えなかった。導入については時期を早くしようとする。

【あまり深まらなかった】

自然界に無いものを作る。

【深まらなかった】

コメントなし

# 自由意見

資源の乏しいわが国において、子供のたちの世代のためにもエネルギーのリサイクル化は必要だと感じた。

プルサーマルが反対なら、エネルギーの節約を真剣に考えるべきだと思う。

今迄にもプルサーマルに関してのお話は何度も聞いたことがありますが、今日の討論会は、反対意見を聞きに来たようでとても不愉快な気分です。反対派の方々には人の意見を聞くというより自分たちの言い分を感情的かつ威圧的に発表するのみで、もっと冷静さがほしいと思います。エネルギー資源に限られている中で私たちの子供や孫たちの時代のことを考えるとプルサーマルは必要なことだと思います。四電さんに関係する者ではありませんが、何度か見学に参加しましたが、かなり慎重に取り組んでおられ、もしもの時…と云っている間は発展はないと思います。反対派の方とも絶対に日常生活の中で事故に(例えば交通事故や生活する中で)絶対に合わないと言えますか。もっと長い目で見てみんなで考えましょう。

議論が全くかみ合っていない。

日本のエネルギー事情を考慮した場合、将来の高速増殖炉を含めてそれまでの間プルサーマル開発については推進すべきと考える。反対意見を唱えるパネリスト3者の安全性に関する意見には技術的なことはわからないが説得力に欠けるように思えた。プルサーマルに反対的な意見・質問を出される会場の方々の話を聞いて思うことは、目先のことに反対するだけであり、それに替る意見が聞かれない。何を言いたいのか、聞いていて嫌気がさした。

今後の世界のエネルギー情勢を考えれば、日本がエネルギー源の海外依存度が世界一である現状を踏まえ、貴重な国産エネルギーであるプルトニウムを利用していくことは推進されるべきだと思う。以上の視点からすると、プルサーマルに慎重なパネラーからは、それを踏まえた意見は伺えなかった。

質疑応答では、プルサーマルの是非を問うよりも慎重派の意見ばかりが取り上げられたような感じを受けている。セレモニーのような感じで非常に不快感がある。安全性については基準となる余裕を見込んで設計が行われているのであれば良いと思う。必要性については石炭等火力発電で発生するCO2 地球温暖化の問題や、自給率の低い資源エネルギーの事情を考えると、原子力(プルサーマルを含む)発電も必要であると思う。(何かの文献で原子力はクリーンなエネルギーであると読んだことがある。)安全性が確保されるということを条件に、プルサーマル導入もかまわないと考える。平和利用と軍事利用を結びつけて論じること自体、この討論会の議論のないようにして意味のないことだと感じた。

私はプルサーマル導入はやむを得ないものと思う。日本の資源を見ると、また将来を考えると、必要である。今回の討論会は推進派3名と反対派3名による討論であったが、こうした意見、特に反対意見は少数意見でないのか。偏った考えによるものなのか。様々な条件がある中、大勢はどうなのかを含めたものとする事で、判断が出来るものと思う(公平性を優先しすぎたものであった)。

再処理工場は非常に困った問題が隠れているのか?信頼の置ける技術なのか?賛否を技術者の話で答えを出すのは問題あり。事故のとき必ず出るのが想定外とか初めてで、逃げることにないように!どこまで考えておくべきか?国際的・経済的に見れば必要性は十分感じる。薄っぺらな責任感はいらない。県民、国民の安全を真摯に!ゆえに技術が大事。どうも純粋な技術論ではない様な内容であった。県は技術的に解決できていないようなのに、「専門家のOKが出ている」という答えはほしくないでほしい。検討する条件が同じでない。世界初は特に技術が頑張らなくて成功するように持っていくのが国益!

100%安全なものなどはこの世にあり得ない。微小なリスクを確実に管理しながらエネルギーを作り、消費していかなければ人類の文明、生活そのものに支障を来すはずである。高速増殖炉が商業ベースとなって稼動するまでには少なくとも40年以上かかるといわれている以上、40年間ただじっと指をくわえていること自体が将来を担う子供や孫たちに申し訳ない。日本がおかれている立場をみんなが改めて認識した上でざるんすべきである。エネルギーがなければ生きていけない。

安全に推進してください。

エネルギー危機は迫っています。プルサーマルを早く推進してください。

賛成します。

感情論ではなく、一つの論点も取り上げ方によって見方が違ってくるということが、賛成・反対両者のご意見を伺ってよく理解できた。安全性を十分考え、対策をとることで、またこういった機会を通じて理解を深めていくことによって、プルサーマルを推進していくことが必要である時代であると思う。資源の乏しいわが国においては、アジア、特に中国などのなりふり構わぬ石油などの囲い込みがある中で、技術の向上を図っていくことの必要性を感じる。東電や関電にくらべて小さな電力会社ではあっても、原子力の比率の高い電力会社に信頼を寄せてもいいのではないかと感じた。ただ安全性については、十分な注意を払ってもらいたいと思う。

プルサーマルに関係ない全体的な原子力の耐震とか話が多かったので、ポイントを絞れば理解が深まったと思う。

そもそもウラン燃料による原発そのものから非とする人々とはどこまで行っても意見はかみ合わないと思う。交通事故が多いから車がいらぬとは、ならない。ウラン原発が存在し、そこでプルサーマルの是非に話題を絞り込めるよう話を進めていくべきではない。

内山・山名先生のお考えに(机の上での話だと批判はありましたが)最も共感できました。現実的な対応として、伊方発電所におけるプルサーマルの推進には賛成です。

プルサーマルの内容についてより深く理解できて良かった。

パネリスト各人の発表時間が短い。分かりやすい説明であるので、もう少し長い時間取ってもらいたい。電力需要に対するパネリストや反対派の方々の認識が甘いと思う。発電と需要の考え方。地球に優しく何がエコロジーになるのか、両面から考えなければならぬ。

# 自由意見

今回の討論会に参加して、日々疑問に感じていたことを理解することができた。四国電力は今後プルサーマルを推進するに当たり、より安全・安心できる発電所作りにも努めてもらいたい。すべては人間が関与すること。ミスは絶対にないようにお願いしたい。

反対派の小林・館野・西尾パネリストは反原発のことを説明しており、プルサーマルについての意見としては不十分であった。また、原子力技術に対する知識が低かった。不安をあおる意見が多く、もう少し冷静であってほしい。質疑応答は反対派の意見ばかりで、それは事前に意見をまとめているようで、ペーパーを見ながらのものがあつた。うんざりした。

日本はエネルギー資源に乏しく必ず必要な電気のためにはプルサーマルは一つの手段であると思う。電力会社や国において安全に十分に配慮し進めているものとも思うので、今後計画を進めることに賛成である。

山名さんの話が一番良くなった。一番理論的で内容が非常に理解できた。来てよかった。反対の先生は単に危ないと言っているだけだとわかった(理論的でない)。

何をやってもリスク・危険・事故が起こる可能性を含んでおり、実施する事業者はもちろん、国策として方向を示している国が管理・安全性の確保等について十分過ぎる対応をしていただきたい。

各パネリストが言っていた、核兵器への転用などといったことは、転用をさせなければいいわけであり、今日の使用済核燃料の再利用の討論会の中で議論することではない。人間の歴史の中でいつの世でも新しい技術が発明・発見されて今の便利なものが作られてきた歴史があつた、今があるわけである。その時々には必ずその技術を悪用しようとする者がいたが、そのことだけを心配しては技術に進歩はない。リスクがあることは全て行わないということのほうがリスクが大きいと思う。プルサーマルはそのリスクの一つではあるが、リスクのあることは反対すると言うだけでは進歩なし。もしもの事故が発生した時のベストの対応は最大限の対応を考えるべきである。

外国では伊方と同じ型の発電所でプルサーマルが行われており、安全に運転されているということがわかりました。プルトニウムの特性など様々なデータを元に安全性が審査されたのであれば、「万が一の事故が起こった場合」といった危険性だけをあまり強調する必要はないのではないかと思います。

プルサーマル推進方お願いしたい。

推進派の説明がわかりやすかつた。

エネルギーの将来を考えると、原子力エネルギーの利用は、避けて通れないであろう。したがってプルサーマルは仕方のない選択である。反対の人の意見も貴重であつたが、日本を存続するための方策が全くなされなかつた。このことは少し残念だつた。

パネラーが賛成派3名、反対派3名であつたが、県民の半分が反対しているかのようである。正しいことを反映しているか。(エネルギーを海外に96%頼っている日本の現状が理解できていないのではないか。)反対派のパネラーは必要以上に不安をあおるような意見を出しており、県民は真実と受け止めてしまう恐れが強い。危険危険というだけでなく有効利用の方向を目指すべきである。ただ不安をあおるだけの学者は無責任である。

車に乗ってもリスクが伴います。少しでもリスクがあるのならやめるべきと考えるのは間違いだと思います。後世に対してどうしていけばよいかを考えるほうが良いと思います。

反対派のヤジが怖かつた。容認派は声を出しにくい。私個人は資源のほとんどを海外に依存している日本は輸入した資源をいかに有効に使用するかが大切だと思つた。現にガソリンもひとところに比べて大幅に高騰して私たちの生活を圧迫している。このような背景から、原子力、プルサーマルは必要なのだらうと思つた。ただ、安全性の確保が一番大切なので、十分な対策を取つた上での話。ただ、今回の討論会で安全性は大丈夫じゃないかと思つた。

専門的な話ばかりで一般市民としては理解できにくいものがばかりであつた。資源としては、取り入れていかなければならないものであるから、私自身としてはプルサーマルに賛成である。しかしながら、本日の討論会の中身は専門的なことが多すぎて話としてはわかりにくい。もっと簡単でわかりやすく話してほしかつた。反対派の意見が余りにも強すぎてこのままだと納得させるのが難しく感じた。賛成派は納得しているのであるから、わざわざ討論会に参加する人は少ないと思つた。賛成を得るための討論会であつたとしても、あまりにも危険が多いことばかり強調されるのみの会だと思つた。

推進派パネリストのほうが数値を明確に示しての説明であり、客観性があると思つた。必要性については、誰もが認めるところであると思つたが、慎重派のパネリスト、会場からの意見は原子力発電そのものに対する反対であり、プルサーマルの安全性について真剣に考えた上での発言ではないと感じた。プルサーマルの安全性について、慎重派はただ漠然と反対しているのであり、データを示しての意見がないことは誠に残念である。

安全第一が言うまでもない。四国電力はそれを100%守ってくれると期待している。エネルギー資源の有効活用は日本にとって大切。プルトニウムを人類に活かす。核利用はダメ。

プルサーマルの必要性・安全性についてよく理解できた。今後も安全・安定運転を続けてほしい。

化石燃料は有限であり、残り少ない。運転には課題が多いが将来のエネルギー確保のため、核燃料のリサイクルは必要である。事故の対応や再生費用の低減を図り、プルサーマルを是非実施してほしい。地球温暖化対策のためにも、反対派の意見も聞いたが、当面の問題のみであり、十分に対策可能と思われた。

# 自由意見

専門用語が多くて難しい。とにかく安全供給をお願いしたい。

愛媛県プルサーマル討論において、安全性はなくてはならないものだが、日々の生活には電気がなくては住めないと思っております。こういう討論会を開かせていただき、ありがとうございました。もっといろいろ勉強できたらと思います。

安全性について、中村さんの明快な司会で、ある程度よく理解した。将来を考えたとき、プルサーマルは必要である。県民として、反対派は口先で自分たちは電気の世話になっておきながらけしからん。反対のための反対強行論と受け止めた。パネリストはもう少しアウトラインにまとめて説明すること。

安全性、必要性について理解できたので、計画通り進めてもらいたい。討論会の最後に出席者の考えがわかるように、賛成・反対・中立の人数を集約して、公表したほうが全体の意見が理解できると思う。

将来的なエネルギー問題として、今からこつこつと出来ることから対処するという意味でもプルサーマルは必要であると思えた。現在の安全運転を継続する姿勢が大事である。代替エネルギーを反対の人はどう考えるのか。具体的ビジョンが語られない。

それぞれ専門的な難しい話の内容でしたが、山名先生のお話は何とか理解でき、納得できるような気がしました。何をするにも100%安全は不可能だと思います。しかし100%安全で取り組むことが第一。

必要性について、山名先生の話がわかりやすく、納得できた。いわゆる慎重派の先生方がおっしゃる「FBRが破綻したからプルサーマルが不要」という話には共感できない。安全性についても推進派の方の言い分に一理あり。以上中立の立場で聞かせてもらったが、プルサーマルは現状では進めざるを得ないではないか。

地球温暖化のように大きな話にもなりましたが、子供たちそしていつかは生まれる孫たち、明るく楽しく安全な世の中であることを祈りたいです。ハード面・ソフト面両立できる未来になりますように。

私個人は、電気に関する知識があり、ある程度理解できたが、一般の人にとっては少々理解しにくいところがあると感じた。

多方面からのパネリスト討論で双方の考え方が良く分かった。双方とも根底が違う部分からの意見ではあったが、最終的には、最新知見、最新情報をいかに理解し、討論しているかに注目した結果、プルサーマルは資源の極めて少ない日本にとっては必要と感じた。安全性については、専門家がチェックをかけており、信頼できるものと思える。

質疑応答での慎重・反対の人は多数メモらしきものを見ながら読んでいたように感じた。なにか反対のための質問であり、本当の質疑応答ではないように感じた。

プルサーマルの意味が分からなかったが、少しエネルギーに対して関心を持つことが出来た。安全性についてですが、やはり不安は残ります。絶対に事故の無い平和利用を期待してやみません。

少資源国日本。中東も不安定なので、エネルギーの安定確保が必要。特にプルサーマルは自国でのエネルギー資源となり必要と思われる。公平に考えてプルサーマルは必要不可欠である。

資源の有効利用の観点から必要であると思う。

技術家・事務家のたわいもないケンカである。日本の技術力はそんなものではない。事務家がそこまでの能力がない。反対反対というのもいい加減にしては。

プルサーマルはプルトニウムの利用を兵器に使用しないためにも必要。

私はずっとプルサーマルに賛成でした。エネルギーの有効利用、安定供給、とても素敵なことだと思っていました。でも今日参加してそれだけではないのだと初めて認識しました。日本にとってとても大切なこと。もっとみなさんにも興味を持っていただき、理解していただきたい。日本の人たちが、愛媛の人たちが無関心なことに、非常に不安を感じます。

核拡散につながるといわれているが、日本の状況は諸外国で見られており、核開発は出来ない状況である(平和利用しかできない)。

エネルギー資源の重要性を再認識できた。このプルサーマル計画の必要性を感じた。

消極派のパネラーはプルトニウム＝核兵器という発想が強すぎるのではないかと「嫌なものは持ちたくない」「考えたくない」「利用など出来るはずがない」「安全であるはずがない」という感情的な意見と思えた。日本のエネルギー確保のため、科学的根拠の元に、研究・開発を進め、安全第一でプルサーマルに取り組んでほしい。

# 自由意見

反対派の方は、原子力発電所と原爆を混同していないでしょうか。今回のプルサーマル計画から、かけ離れた内容が多く議論されていたように思います。山名先生がおっしゃっていましたが、反対派の方は、エネルギー市場のことを考えていない。「危ない、危ない」というだけで的を射ない内容が多かったように思います。反対派の方が、「自分も技術者のはしくれた」とおっしゃっていましたが、安全について電力会社が様々な設計指針をクリアできるように対策を講じていることを理解しているのでしょうか。技術者なら技術者らしく、理論付けされた内容で議論されるべきです。逆に、反対派の方は、ウランの再利用について、どのように考えておられるのでしょうか？ 反対！ 反対！ では答えになっていない。

山名先生の話がわかりやすかった。学者生命をかけて推進されているので、信じてプラス思考で次代のエネルギーを考えていこうと思った。プルトリウムが原子爆弾とイコールというように考えているようですが、ここでのプルトリウムは何%かのプルトリウムで、原爆は100%とか聞きました。怖がらせるだけではなく正しい情報をもっと出してほしい。

推進側の論旨は筋が通っていてわかりやすい。反対する側の話の内容は項目的には素人受けする、誰でも疑問に思うような点をクローズアップするので、とっつきやすいけれど、よく聞いてみると、すでに安全審査で結論が出ている内容であったり、議論が尽くされてきた内容であったりした感があった。反対する側の人はいま少し世の中の状況を勉強したほうがよいのではないかと。そのほうが話の内容がより公平性にたったものになるのではないかと思った。いずれにしても両派の話が、同じ場で聞け、自分なりに理解できた点で、本日の討論会は有意義であった。

家にいる主婦にこのような機会を与えてくださったこと、大変ありがたく嬉しく思いました。ただし心配事もやはり残ります。それを逃さず聞きただそうと思って聞き通しましたが、やはり一抹の不安があります。どうかこれだけの学者・技術者・すばらしい人々のなさることなので大丈夫とは思いますが、国民の安全を第一に100%までいかななくても安全を第一に進めてください。お願いします。

日頃からエネルギーに関心を持ち学習していますが、リサイクルにはいろいろと問題点があるようで、技術面や安全性には慎重に取り組んでほしいと思います。

ぜひプルサーマル計画を推進してもらいたい。

内容がわかりやすかった。危険性の問題は、リスクをどこに考えるかが重要。日常の生活で車を運転していて事故にあう確率と原子力発電所の事故の確率を比べると車のほうがはるかに確率がおおきいと考えられます。生活に身近なところで言えばクリーニング屋は、化学物質を使っており土壌汚染の可能性が高く、生活が脅かされている危険も高くなっている。地球上の全ての人々が原子力に賛成だとは思わないが、自分が豊かな生活を享受したいのであれば、どこにリスクをとるかを考えるべきである。私は原子力発電は必要であり、安全だと思う。大賛成。どんどん進めてほしい。

プルトリウム利用は本来的にはFBRにおいて実施すべきである。しかしながら、現状ではプルサーマルを行ないながら、技術を進歩させていくのが現実的な手法である。資源小国である日本では、省エネとともにエネルギー効率利用や脱CO2を目指すべきその一環としてのプルサーマルは必要である。小林氏のように原爆になるからプルトリウムは作ったらダメという空理空論では経済活動を進めていけないし、豊かな暮らしは不可能である。

エネルギーを作り出すことよりも使用料を減らす、効率を上げる技術を生むことが先であると思う。例えばエネルギー変換、伝導効率の向上、逐電技術、電気にだけ頼っているのだから、他の自然にあるエネルギーの利用方法の開発。核拡散は住民にとっては関係ない。プルトリウムの話もそんなにいらぬ。住民にとっての具体的なメリット・デメリットを示す。国策なのだから、国が住民に対し、プルサーマルをさせてほしいとお願いするべき。そして、伊方が受け入れることに誇りを持つような方向に持っていくべきではないか。

賛成の方の話は理論的だが、反対の方は感情論的な意見が多く一個人の私意を公の場に公然と持ち込む姿勢そのものに疑問を感じた。本問題が県民にとって十か一かを考える機会を別の方向へ導いてしまう可能性を感じる。反対の方は論点がずれており、原子力発電そのものに反対なのであって、プルサーマルについての意見でない。議論のすり替えであり、内容のある討論になっていない。小林先生の意見は公平な視点で判断しているとは思えない。

プルサーマルに関しての理解が深まりました。資源の少ない日本での再処理リサイクルは必要だと思います。

一番印象に残ったのは、質疑応答の中で、地元伊方町の方々から、プルサーマル導入について理解を示す発言が多くあったことです。これはおそらく、四国電力のこれまでの理解促進活動や情報公開等の姿勢、そして何よりこれまでの実績からくるものではないかと思われます。感情論だけでなく、冷静な対応は、我々市民にも求められるものであると思います。四国電力にも、今後更なる安全追及を徹底してもらいたい。



# 自由意見

今、四国の電気の40%をまかなう原子力プロジェクトがNHKのプロジェクトXにとりあげられることもなく、これだけ石油やLPGが高騰する中でしっかり県民の生活を守っているにも関わらず、しかも全国でもトップレベルの四国電力の情報公開への努力も全く評価されていないのが残念。昭和52年以来着実に実績を重ね反対の原子力政策の現状があり反対運動もかつてに比べてかなり、沈静化した中でプルサーマルを契機に地震問題まで巻きあわせてくるのは、アンフェア。プルトニウムは長崎の原爆で広島はウランだった。濃度も全く違うのに原爆を引き合いに出す。極端な不安かきたて材料はちゃんと整理して議論はスリムにすべき。601cm以内の被害などもそう。チェルノブイリは非常に残念な事故だったが、TMIは最悪の事態は避けた。想定外に限りなき仮言が許されるなら、四国で40%の省エネしかない。家庭用も、産業用も含めて…。それと数千億円規模の予算をもつ愛媛県が60億円でとびつくとはいとも思えません。ただ愛媛県民のみんなの声が国&県に届く機会があったのはよかった。

先生方のご説明はよくされていたと思います。原子力は必要悪だと思います。

世の中絶対に安全なものはないので代替策が見つかるまでは計画については、国、県、電力会社を信用してすすめてもらいたい。

エネルギー政策や地球温暖化対策の大局的見地からみるとプルサーマルは、安全性に十分留意に配慮しつつ、基本的には進めていかざるを得ない。

四国電力さんの安全に対する取り組み方が十分行えているところに感動した。今後とも安全第一でお願いしたい。反対派はもっと親の対応でお願いしたい。

初めての先生方の意見を聞き勉強になりました。とにかく安全でお願いします。

特定のパネリストの発言が多く、全員の意見を十分に聞けなかった。反対する人は、特定のパネリストの意見ばかり聞くような質問が多くあまり意見がないのではないかと、本当に県民の意見を聞くことができたのか疑問。

プルサーマル問題というよりも原発反対と言う立場での議論や反対意見が多かったと思う。原発ではなくプルサーマルに絞って県は判断したらいいと思う。

プルサーマルというよりも、原子力をめぐる人イデオロギーの討論会の感があり、結局は以前からの原子力討論会なものと変わらない。四電からの地震に対する取り組みや設計の強さはよく分かった。反対とかの参加者には公開の場での討論会にも関わらず礼儀知らずの人が目立って不快であった。

エネルギーの有効利用、地球温暖化等プルサーマルの推進は有効な方法である。大いに推進すべき。

小林先生が発表の国際的道義とプルサーマルとの関係性について理解できない。パネリストの発表の中に根拠の乏しいものがあるものもあり論理的にかける。「プルサーマルは国のエネルギー対策には役立たない」というのは個人的な主観。安全余力に関して具体的限界の指標やMOX燃料を使用した場合のリスクを評価するのに具体的な度合いが見えない。

今回推進派の方々の意見はとても分かりやすく、理論立てがしっかりしているため納得できた。しかし、慎重派の方々の意見は何故だめなのか明確な発言がかなり少なかった。しかも推進派の意見に対しても明確返答がされていない。いいわけをした後、話をすり替えている。また反対派のヤジが多く、推進派の方々(参加者も含め)の意見がものすごくたたげられた。これでは討論がなりたたない。推進派の方々は長期まで視野に入れて意見を話されていたが、慎重派の方は短期のことしか考えてないような…。また参加者で意見を発言している方は全て年配の方で慎重派に沿う発言をされていた。

反対意見の方の発言はポイントがずれていると感じることが多かった。また、推進意見の3人の方々は統一された意見であったが、反対意見の方々はそれぞれずれている。

反対意見パネラーの説明は技術的論点を下げている。科学者でありながら科学を否定。「プルサーマルによる安全余裕の減少」の図も何を根拠にしたものなのか、空想の理論である。プルサーマルの話をしているのに地震で話をごまかそうとしている。地震を論ずるならプルサーマル討論会以外でやるべき。法律、指針がそのためにあるのではないかと、わが国の資源の問題をよく考え国策としてプルサーマルを進めることは大いにいいことである。ここを考えるべき。

専門的な話、難しく分かりかねた。でも立場立場の人が意見を出し合い、災害に対して速やかな対応、安全を考えてよろしく願います。

プルサーマル計画。再処理リサイクルができれば、資源の確保になるのでいいのでは。原子力を使用すれば電気の使用量が少なくなるのではないかと。

# 自由意見

4時間半座るような様子ではなかった。討論内容に集中しかねる。後ろより3分の1くらいの所に座っていたがディスプレイにレジュメなど映るとどのパネリストが発言しているのかわかりにくい。中央上に常に発言者の映像がほしかった。プルサーマルの討議であるが基本に、省エネ、原子力発電など大きな原則の上に乗っている内容があるので一個人が感情や専門知識なしで発言しても信憑性がない。国策として進めてもらえばよい。

科学者が十分検討して決定して欲しい。伊方に対して反対側の徳島県なども原発作ってほしい。

小林さんの技術的説明は論理的な説明になっていない。(一部のMOX燃料利用は危険。全部の利用は安全など)一方工藤さん、山名さんの説明は詳しい資料もあり論理的な説明となっている。小林さんの説明でBWRの圧力上昇を使い、危険性をあおりつつ、伊方もこうなるだろうとの発言を指摘されると、そのようなことは言っていないような態度に不信感を抱く。

引き続き安全面に考慮して進めていって欲しい。特に地元の人々の意見、心労はおもんばかってこの事業をすすめて。

今回は技術的なことを聞いたかったので分かりやすく説明されていてよかった。山名先生の話が非常に分かりやすかった。昔のように炭や薪の生活に戻るのなら今のままでもよいが。

使用済み燃料を青森の6ヶ所まで運んで地下に埋めてしまうより、安全であれば再利用したほうが良いと思う。電力の必要性は皆同じ思いだと思う。

将来のエネルギー問題又は環境問題について安全性に充分効果を上げて発展してほしい。

地震や予期しない事故に対する危機管理能力の向上が今回の導入と無関係であると思えない。したがって導入するにあたっては、更なる安全性、危機管理体制を構築することの確約が必要と思う。(国と四電)住民の不安をふっしょくする上でも導入側の安全管理にますます目に見える対応をみせてほしい。

プルサーマルの必要性について理解を深めることができた。今後実施することになると思うが、安全面に充分注意しながら地域の理解のもと推進してもらいたい。

やってみないと分からない。今後問題が残ればやめればよいと思う。

電気を使っている者としては反対はできません。100%安全をお願いします。

安全性を充分考慮してプルサーマル計画を考える。

安全は費用をかけなくても可能。プルサーマルも同じではないか。お金をかけるのではなく、物に対する安全意識が大切。

将来的には高速増殖炉が資源有効利用の上で本命であることが理解できた。当面は安全を前提にプルサーマルを推進していくことが現実的である。

利点欠点も含め、将来的な事を考えればプルサーマルは必要かと思う。東電、関電ができないから、四電も右にならえという姿勢は取れない問題ではないか。

私たちの生活には電気はなくてはならないもの。近い時代にエネルギーはなくなる。

安定して電力補給を前提に考える必要がある。国策も含めて。一市民が判断できない。国の委員会に判断をゆだねるのが市民の義務である。

今後とも理解を得るように努力していただきたい。

エネルギー資源の乏しい我が国にエネルギー源 何に確保するのか? 反対のための反論のような理屈っぽい意見はいただけない。建設的に一体どのようにして資源を確保するかの討論が必要で、私は賛成である。

いい事は忘れがちであるが、悪いことは忘れられないものである。可否については慎重に対応すべきである。安全審査において想定できない事故を考慮してもきりが無い。

# 自由意見

確かに反対、賛成、意見どれをとってもなるほどと思う。しかし、今の、エネルギー事情や今後の需要安全性を考えると力は必要不可欠の発覚だと思う。「危険」と言っているが事を起こすことにあたっては、それなりの実験は十分されており、リスクは最小限となっている。逆に考えると今後のエネルギーをどうすべきか。反対派の方々はしっかり考えているのだろうか疑問である。今、何不自由なく電気が使えるのも原子力のおかげであり、今後エネルギーを考える上では、経済性もあるが、トータル的にどうあるべきかが最も重要ではないか。「重箱の隅」をつつくようなことではなく。

原子力発電および核燃料。プルサーマルについて必要性については理解できた。あと、実施にあたっては、特に安全性については十分な検討を実施し、万全な対策を実施した上でお願いしたい。

・プルサーマルの討論会について、慎重派の方の意見にすこし疑問を感じた。「プルサーマル」=「かくへいき」というのは極端すぎる。もっと、プルサーマルの利用について前向きに考えるべきだ。私自身は「プルサーマル」については必要だと思うし、利用するにはどうあるべきか？を議論していただきたかった。  
・いろんな意見・質問を真剣に聞いているのに、好き勝手に意見をいっている人がいて、不愉快だ。なぜ、退席させないのか？

・質疑応答について 反対派の意見ばかりとなっているように思います。反対派はプルサーマルに関係のない発言ばかりでこの討論会の主旨を把握できていないと感じます。  
・質疑応答については指名方式と筆記したものの紹介とする等反対派、推進派の意見が均等になるように構成すべきである。  
・プルサーマルの方式の解説がもう少し詳しくないと質問が的外れなものばかりになっていた。

推進派、慎重派の説明をお聞きし益々むずかしく考えるようになり、正直の処どちらが良いか解らないです。プルサーマルも必要とは思いますが、安全性が一番大切だと考えます。

私は、プルサーマルの安全性については心配していない。現在のウラン燃料と比べ、とりわけ危険とは思われなかった。一番の問題点はプルサーマルの先に高速増殖炉は見る事はできるのか・・・その代替としてプルサーマルが出てきたと感じる。それを考えた上で実験として行っても良いと考える。反対派のやる気のなさ、型どおりの反対、パネルディスカッションの内容に対してつまらない意見が出なかった。プルサーマルの討論会が、耐震性の討論となってしまった。プルサーマルの是非にしばった質疑にしばらくしないと話がまとまらないと思った。パネリストのレベルに参加者がついていけていないと感じた。

1. もっとプルサーマルの安全性について具体的に討論すべきである。核拡散等にしよう点がずれがちである。(十分な安全性が確保されている所が討論よりずれている。)
2. 国の認可されている事実をもっと明確にすべき。

参加者の熱心な討論を聞き、真剣に考える良い機会となった。廃棄物の処理などの問題を先送りにしないで、解決するのは私たちの使命だと思います。安全性を確認し、確立することでプルサーマルの実施に向けて、一歩踏み出していきたいと思います。

非常に有意義な討論会であった。何よりプルサーマルの必要性、安全性の理解が深まったことが良かった。地球の未来、人類文明の将来を考えると、エネルギー問題、地球環境問題が避けて通ることのできない大きな課題であると、前々から感じており、その解決のために原子力の有効利用は欠かすことのできないもの。その第一歩が今回のプルサーマルだと理解できた。パネラーの中には、高速増殖炉でないという意味がないとか、少量なので地球問題など大きな話ではないという方もいたが、それでは何でも「第一歩」というものはない。安全裕度の件に関しては、反対派の方は地震に対する考え方が当初より変わってきたことを例に挙げて、それとは関係のない「プルサーマルの裕度」にも、それがさあてはまる様な言い方をするなど、具体性にかけるし、不安をあおる様な言いぶりが目立った。一方、推進派の方は「安全余裕-1,-2」等具体的に説明されていて中立的に感じる良い説明であった。小林先生の「プル利用が世界の道義に反する」という考え方は、反対のための反対として、あきれるほど我田引水の理屈であり、この様なために「道義」という言葉を使うことが、非常に不遜な気がしてならなかった。館野先生も、プルを使いますと70kgも不明になり核兵器につながるというのはあまりに短絡的。等々、反対派の方は、推進派は推進のための理屈といわんばかりであったが、私から見ると、逆に反対派の方の主張が反対のための理屈のつかさねでしかないという感じがする討論会であった。質疑応答においても反対派の方のエキセントリックな姿が目立った。彼らの発言はよく「県民は・・・」という言い方をしているが、決して彼らの意見は県民全体の意見ではないはず。非常におかしい。(パネリストの発言にヤジを飛ばしていたのも反対派の方のみであった。)我々の孫子の世代の幸せを考えると時、「プルサーマルに反対する方々」に、今我々がすべき選択をまかすこと、またそれらの方々に、我々の未来を託すことは、重大な責任放棄であると感じた討論会であった。県、四電はそのところを十分考えて、プル推進の判断をしてもらいたい。声大きな反対派ではなく、良識あるサイレントマジョリティをきちんと理解していただきたい。

原子力関連の一般市民の討論会に参加したのは初めてでしたが、原子力そのものに対する強い嫌悪感を示す住民の方々の存在を実感しました。プルサーマル計画そのものについては、推進派の方々の方が定量的なデータをより多く示され、説得力があったと思われた。プルサーマル計画の前提となる高速増殖炉の実現の可能性についてのより科学的な議論、評価に関心を持ちました。また、原子力に対して住民の一部又は多くがこのように強い嫌悪感を示すのか、その背景には国や行政に対する根強い不信感があるのではないかと考えられます。住民に尊敬される国や行政であっていただきたいと願います。

原子力発電の根本に関わる問題が多かったが、プルサーマルの有効利用についてよく理解できた。四電はより慎重に、より安全に取り扱ってもらえれば安心していけると思います。リサイクルは積極的に進めて欲しい。

石油の値を下げるため原子力を活用して下さい。

# 自由意見

今日の討論テーマはプルサーマルについてであったが、こういった討論をすると必ず原子力は必要か否かという観点のズレが生じる。プルサーマル自体は、技術的に問題ないものとの印象を受けたが、原子力を今後どう運転を続けていくかについては、国の原子力政策の見直しの議論が必要。

日本の将来を考えると原子力発電を賛成とか反対とかを協議することでなく、いかに安全性に取り組むかが必要であると思いません。私たち県民も長期的エネルギーの大切さを考える一日でした。

賛成、反対意見いろいろ聞かせて頂きました。とにかく安全を・・・という気持ちがいっぱいです。

プルトリウム原子力ということに過敏になっている慎重派の意見、見解は反発するのみで何らの代替案も持っておらず、ただ県民の感情を刺激しているにすぎない。技術的な議論も数値に裏打ちされた合理的なものではなく、慎重派の理論は理解できなかった。会場の意見も片寄ったものばかりで、それらの意見が県民の声と受け止めてもらいたくない。サイレントマジョリティは推進の考えではないかと思う。できれば慎重派の具体的な代替案を聞いたかったが何も聞けず残念だ。反対反対というのは誰でも言える。反対意見も説得力に欠けたものであった。

今回参加して、プルサーマルに関する安全性や問題点などそれぞれの貴重な意見が聞け有意義だった。このような時代なので、リサイクルは必要なことだと思う。

プルサーマルの議題の関係のない発言が一部パネリストにあったのはコーディネーターは注意すべきである。一部パネリストはパネル・ディスカッションにおいて自己のPRに専念している感がある。

エネルギーの必要性と安全リスクの問題が最終課題であるが、小林、館野、西尾氏の反対意見にはうなずける点もあるが、万一のリスクに対して誇大評価されている点もあり、いたずらに反対論者の盲目的賛同を期待しておられる面の拍手の多い要因かと思われる。何事もリスクの伴わない物事はないが、人間の知恵で科学の力を最大限活用してリスクを克服するがこれから地球に生きる人類にとっては欠くべからざることである。この点から私としては、燃料のリサイクルとしてのプルサーマルは推進せねばならないと考えます。

風水の自然にシフトしたエネルギー供給は不安定で生活が保たれない。まして現生活は自分のまわりをみわたしても電化生活になっている。地球は温暖化になり世界全体でも異常化してきている。京都議定書で温室効果ガス排出削減目標、この様な現状で新エネルギープルサーマルもCO2削減に役立ってくる。リサイクルして新エネルギーをつくること、作業、業務などしっかりしていただきますすめていってほしいと思います。

館野教授の基調講演は資料の準備もなく説明が不十分でよく分からなかった。これでは議論がかみ合わないし、せっかく時間を割いて聞きに来たのに時間の無駄である。西尾代表は確たる資料の提示もなく、一方的に自説を主張するのみでこれでは聞く者にとって非常にわかりづらいものがある。時間があつたのだからもっと資料を事前に準備しておくべきである。全体的に推進側は細かいデータをさし示すなど、聴衆に分かってもらえるよう資料を十二分に準備していたのに対し、慎重派は国際的な情勢などを取り上げるばかりで、理詰めの説明ができなかったように感じた。慎重派はまず初めに「危険なプルトリウムは持つべきではないし触れてはならないものである。従って再処理などたんでもない」と言っている様に聞いていて感じた。要は科学技術に対して信頼するか不信感を持つかの問題だと思う。今日は地球温暖化などの環境問題の話がなかったが、今、日本は京都議定書での約束（12年度までに90年レベルで6%CO2を削減する）の実行が危ぶまれており、現在プラス8%、合計8+6%=14%削減が必要となっている状況となっている。従ってこの点からも原子力発電は必要であると思えます。また今ガソリンを含む石油類が高騰しています。石油が上がるとウランもそれに合わせて高騰する可能性があります。この点からもプルサーマルを導入する必要があると思えます。

今回の討論会に参加し、安全性については理解できました。より安全性をもってプルサーマルを進めてもらいたいと思います。原子力のコストメリットがあることが理解できた。（他の発電方法より安いことがわかった。）プルサーマルにより、安全余裕はむしろ大きくなるのが理解でき、安全性増加になると思う。反対派の人は、議論をすりかえているのではないだろうか。原子力（プルサーマル）は、次世代のためにも必要である。きちんと想定外の事故も考えて、設計に反映しているものと安心している。

交付金が入るならいいと思う。県民税等を上げるくらいならば、今ある原発を有効利用すべきである。

推進派、慎重派それぞれの立場で述べていたが、議論がかみ合っていない印象を受けている。反対派は、安全余裕が低下するから危険きわまりないという主張であると思う。20世紀技術を信頼して、突っ走ってきたあと、21世紀は何に依存するかという理念の問題でもあると思うので、プルサーマルは推進してほしい。

日本は、資源のない国、食糧の無い国であり、今の世界ではいつそのような資源、食糧の輸入がストップあるいは削除、大幅な値上げがおこるかかわからない。世界の状況変化に対応できるよう早めの対応が重大であると強く感じる。今は世界が激動の社会（状況）になっていると考えられる。他国の物、力、資源等をたよりにする時代は卒業し、自力（日本の力）で自国を守る力をつけることが重要ではないのか。そのような意味からも、プルサーマルは、他国へのエネルギー資源の依存の減少が少しでも前向きに考えるべきであると考えます。プルサーマルという一点のみを見つめて考えるのはどうか、全体を見て考える必要があるのでは。今後、世界のエネルギーは各国の奪い合い、値上げ、輸入の難しさ等が大きな問題になってくることは容易に想像できることである。また、そのようなならなくても自力（日本の力）をつけることは決してむだでなく、将来にわたりプラスであり、子孫への思いやりでなかろうか。今、日本には戦後からの時間の経過とともに権利のみを主張して義務をはたさない国民が非常に多くなり、自分の利益追求を最優先し、いろいろな物事がまともに論議なされていないことが多くなったことに非常に情けないものを感じる。日本国民がまねしざるにはならない。外国は外国、日本は日本である。自国で安全に使用できるプルサーマルを構築すればいいことである。日本には、それだけの技術を開発できる力を十分に持っていると思っている。外国のことを言って反対するのは、幼稚な考えであると思う。

# 自由意見

ニュートラルな立場で来たが反対派の感情的な反応には辟易した。冷静な議論ができない人間はつまみだして欲しかった。反対派は公開討論会の趣旨を理解していない人が多かった。(プルサーマルは「危険」が前提であることを言っている。)

理解を深めるためには具体的データに基づく合理的な論理が必要だと思う。その意味では推進派の先生の方が説得的であり、納得できた。情緒的な意見には賛同しやすく流されやすい。反対側の意見にはそういう点が多かったように思う。エネルギー問題は広い視野で考えるべきで、エネルギー資源の乏しい日本では、プルサーマル(それだけではないが)も重要な選択のひとつと考える。これまでの原子力発電の実績も踏まえて、説明を受けた計画の中で行われるのであれば、安全性にも問題はないのではないかと。愛媛の問題ではあるが、その先には日本全体のエネルギー問題にもつながる問題である。日本がつぶれば、愛媛にも大きな影響もある。狭い視野から判断すべきではない。

国、県、電力会社ともに今後も慎重に進めて行ってほしい。県(愛媛)だけの問題ではないことを改めて実感した。

日本の現状を考えた上で、現在、原子力発電なしでは、今の生活は到底できない。それは生活面においても、環境面においても、<生活面>電力消費の多くをカバーしているのが原子力であるということ<環境面>温暖化の原因であるCO2を排出するが極めて少ない原子力発電であるということ。これらを含め原子力発電という一つの方法は必要不可欠であると思う。それを長期間見据えて行っていくためのプルサーマルも同じように必要であると思う。確かに安全面等リスクは大きいとは思いますが、世の中リスクなしでは上へは行けない。歴史的に見てもリスクを負いつつ今の世の中へと発展してきたのであり、リスクの中で我々の生活は保障されているのである。そう考えたとき、このプルサーマルの必要性というものに気づくべきではないだろうかと思う。そのためにも、やはり四国電力、国、県等々、住民への不透明さを取り除く努力をもっとすべきではないだろうか。

推進派についても、慎重派についても具体的なデータ、技術的な見解が示されていた。どちらにしろ、推進派の意見や慎重派の意見を通すために具体的根拠に乏しい誤ったデータを示すことはないと感じているが、今後も風通しの良い討論により進めていただきたい。今後も原子力は必要な技術と認識している。今後も安全に留意しながら、県民(国民)の理解を得ながら、進めてほしい。

今日の討論会を通じてプルサーマルの導入について問題は無いと感じた。

エネルギー自給率の低い日本では、原子力エネルギーの開発は必要である。また原子炉で生成されたプルトニウムを保管するよりも再度プルサーマルで原子炉で燃焼させるほうが安全である。

経済性と安全性について専門家間で、十分に協議されていることと思います。ただ、万が一にも事故が起こったとき、どこが責任を持って対処するのかをわかりやすく示してもらいたいと思います。

全体的に見て反対派パネリストの人選ミスだと思う。プルトニウムは武器になるとか、世界的にプルトニウムは使用しない方向に向かっていると、今回の討論会とは無関係な方向に誘導している感じを受けた。一方で、賛成派パネリストも必要性についての説明はよく理解できたが、安全性に関しては実績があるとか程度の話で、いかに安全を確保していくのかという内容が欲しいし、四電はオブザーバーではなく意見を述べる場があっても良かったと思う。また安全性については、反対派は一部の特殊な現象を危険だとおっしゃっているような感じで論理的とは言えない。さらに主催者側には、パネリスト、参加者に対してプルサーマルをするか、しないかについての討論会であって原発の要、不要を問うているのではないということ徹底してもらいたかった。全然議論がかみ合っておりませんでしたし、特に主婦という方の感情的な考えであればこの場では言うて欲しくありませんでした。

プルサーマルの必要性は十分に共感できる。しかし、安全に完璧はないので、その点には不安が残る。

プルトニウムを使っても、安全だと良く分かった。最大の注意を払って計画通り進めて良いと思う。

反対派(慎重派)の意見は、…とこころに危険がない、だから進めろという意見は、この日本技術立国にとってはナンセンスである。石橋をたたいても渡らないような気持ちでは将来の日本はない。他国でも実績があるんだから、推進すべき。ただ、プルトニウムは危険であることはよく理解し、事故を起こさないように努力するのが筋である。

松山の反対意見を言っている人は特定の団体や政治的な立場で言っているような気がする。便利な生活をしている松山の人が便利な生活を望んでいないのはおかしい。イデオロギー的な特定の意見が多く、無責任だと思う。

プルサーマルそのものは問題の無い計画であると考えられるが、原子力そのものの安全性という問題で疑問が残る。究極の安全を確保してほしい。

慎重派の発言は要領をえず、話が長い。

プルサーマルに反対されるパネリストの技術的な不確定さや安全性に対する明確な根拠は希薄である。感情論的な発言が多い。又、一般の方々への不安をあおることが多く、本質的な問題を議論していないと感じた。

# 自由意見

安全に最大の注意を注いでほしい。八幡浜市などの地域振興を計ってほしい。大変勉強になりました。最後に四国電力は情報の発信を速やかに詳しくお願いしたい。

今回の討論会に参加して新たに必要性や安全性についての理解が得られてよかった。

第2部では慎重派(というより反対派)の方々が自説を支持する先生の答弁を無理やり引き出し、本来のこの会の目的から外れているように思う。

プルサーマルについてはいろいろな情報が公開され、また電事連なども意見広告を出されていますので、電力会社の考え方、安全性についてもしっかりと理解できるように配慮されています。このようにしっかりと情報が提供され、地域の一員としてその是非が判断できることはすばらしいことだと思います。知事も申されていたように、このシンポジウムを通じて県や町が正しい判断をされることと思います。一町民としては、十分に安全性が確保されていると思いますし、将来的にもしっかりとしたエネルギー確保をお願いしたいです。

賛成、慎重各々は基本的に考え方が異なり相容れることはないかもしれないが、このような場で十分議論できたことは非常に有意義であると思われた。これからも十分な情報公開を進めながらプルサーマルを進めてください。

公開討論会を通して広く県民の理解を広めることは有意義であると思うが、賛成の方と反対・慎重の方の垣根は大きいように感じた。討論会の結果をどう使用するのか疑問が残る。今回の印象として、パネリストの慎重派の方も、プルサーマルは安全裕度を下げるものの危険なものではないと感じた。

今までに電力の説明会、国の講演会を2回、国のシンポジウム、さらに今回のシンポジウムで議論は出尽くしたと感じた。こんなに多くの方々が聞かれ、理解も十分に深まったと感じられる。もう2年近くも議論しているのでそろそろ進める結論を出す時期が来たと感じた。反対又は慎重派のパネリスト3名は多すぎた。

慎重派は概して抽象的だったように思います。推進派は科学的合理的回答だと感じました。

プルサーマルに反対の意見を持っている人は具体的根拠に乏しい点がある。

今回参加して、いろいろな意見があり勉強になった。私としては電力のプルサーマルはともかく先進国として地球全体を考慮するとCO2の発生する火力発電所より原子力で当分の間やっていたほうがよい。他に頼るエネルギーは現状では考えられません。

電気は私ども生活をしていく上で、必要不可欠なものであり、長期的に消費者にとりまして格安で供給していただき日常生活が満足できることにして頂きたい。

プルサーマル反対意見のパネリストの考えでは、どうすればよいのか方策が示さない。具体的な考え勉強が乏しいと感じました。ただ反対というのではいけないと思う。もう少しきちんとした考え、経験、知識をベースに説明しなければならぬと感じました。

内山先生の最後のお言葉が最終的と思う。

反対意見のパネリストの論拠は技術的、データのものを都合よくまとめたもので、科学的な知見が見当たらないものが多かった。感情論の討論会は何回やっても同じである。問題点を科学的に1つずつ詰めてトータル総合的に政策的にどうするかを議論しないと反対意見は何の意味もなく質問でき公平でない。

石油の価格が上昇している今、資源の有効活用の点からもプルサーマルは実施したほうが良いと思います。

今日も九州で集中豪雨が続けている。最近では集中豪雨による被害のニュースをよく聞くようになった。これも地球温暖化の影響であると思う。また、昨今の石油価格の高騰は目を見張るものがあり、世界的には資源戦争が始まった気がする。資源少国の日本にとって、環境特性に優れ自前の技術エネルギーである原子力は是非進めていかないといけない。最近では、ウラン価格も石油につられて上昇気味である。ウランも有限の資源である以上リサイクルして使っていないといけない。そういう意味でウラン燃料をリサイクル使用するプルサーマルは是非とも推進していかないといけない。今後の日本の発展と向上を図っていくためには、エネルギーは不可欠であり、そのエネルギーを主に支える原子力、プルサーマルは安全確保を前提に是非とも早期に実用化していかないといけない。

県民の安全重視(プルサーマル)に対する考えが十分伝わった。県民の意見を聞くと平成22年目標は厳しいかなと。

一部、パネリストどうしの討論会になりそうになったのが残念でした。事故対応能力がないみたいなレジュメの一部に地元企業(地元)をバカにされたような気がして、とても不快に感じた。もう少し配慮したほうが良いと思う。パネリストの方も今の日本の現状をもう少し理解する必要があるのでは?エネルギーは需要にあわせるのではなく、需要に規制をかけるといっても、今の生活水準を変えることは不可能に近いと思います。私は今の生活水準を落とすことは考えられません。このIT時代に電気使用に規制がかかるのはおかしいですし、無理だと思います。一番残念だったのは松山会場で野次があったこと。せっかくの機会なのだから、もう少し心を落ち着けて参加すべきだったのではないかと思います。

企業(四電)が安心安全でがんばって下さい。

# 自由意見

<p>図面を使った説明が多く分かりやすかった。中継による二元実施は思ったより違和感なく参加できた。県民の声を広く聞くため、はがきで一定期間意見を募集し、抽選でプレゼント(県内産の農畜産物など)するようにしたら良いのではないかと。是非実施して頂きたい。四国電力副社長が地震の話詳しく聞いて頂いたのが非常に良かった。十分な考慮をしていることがよくわかり安心できた。</p>
<p>日本のエネルギーの将来を考えると、やはり原子力は積極的に推進してゆく必要があると考えます。そういう中で、使用済燃料をどう取り扱っていくかを考えるとプルサーマルを実施することは非常に有効であると考えられ、今後早急の実施を図るべきである。</p>
<p>反対していた方々は、原子力発電そのものに従来から反対しているのであって、プルサーマルの議論は1つのきっかけにすぎないような気がする。もともと諸外国で普通にやられているプルサーマルは安全そのものに何の問題もないことは、反対していた方々も承知しているように思えた。"安全性"は十分議論され、理解されたと思う。</p>
<p>エネルギー資源を海外に頼っている日本としては、準国産エネルギーとして十分活用すべきだと思う。何故、討論会まで開催して必要性・安全性について理解を深める必要があるかよくわからない。プルサーマルについては従来の原子力政策、原子力安全の範ちゅうだと思う。</p>
<p>プルサーマルのことが詳しく分かりとても良かったです。分かりやすく説明、またパネリストの方々の話も良かったです</p>
<p>発言者は名前を明らかにして発言すべき(質疑)地震問題とプルサーマルを同じ場で議論するのは場違いではないか、慎重派の意見が多いのではないかと(質疑)松山会場で勝手に奇声を上げる人がいて、聞きづらい部分があった。地震に対する四国電力の取り組みが理解できた。</p>
<p>推進派は、MOXの利用実績など誇張して表現しており、事故が起こった場合のリスクに全く触れない。海外でも進めているというが、ドイツなどのように脱原発を推進している国については全く触れていない。エネルギーの確保は色々な選択があり、何よりも大切なのは持続可能な地球環境を維持することである、生きる物すべてが安全に生きてゆけることである。プルサーマルは絶対にやらないでほしい。</p>
<p>プルサーマルという費用のかかることをやる前に、耐震補強を浜岡原発並みに対策を採ることを優先してほしい。</p>
<p>実験もせずに最初から原発で導入するのはとても危険だ。</p>
<p>Q4、Q5 設問が悪い。端的に必要・不要と安全・危険としないで、「必要」「安全」の理解が深まったとして、「必要」「安全」を肯定したように発表するとしたら、大いに問題。知事は挨拶で「良くわからない」と言った。よくわからないのに県民に危険を強いるようなことはしないでください。</p>
<p>資源の節約にならない。安全性は低下する。岡村眞教授は伊方3号機の耐震設計地震動473ガルは低すぎ、1000ガルでないといけないと言っている。当然ではないか。地元(県民)を実験台にするのは止まねばならぬ。高燃焼度燃料とMOX燃料併用実績(ベルギー)をきちんと開示せよ(同条件でのデータがあるのか)。四電の返事はずいぶんいい加減に見える。MOX燃料の処分を"2010年から考える"とはずいぶんいい加減。"トイレなきマンション"の再現か。(プルサーマルはもちろんのこと、原発をすべて止めよ。医療以外の核と生物は共存できない)</p>
<p>休憩前の各パネリストのご意見を聞いて、私の不安はますます大きくなり、危険性を感じるようになった。その後半の質疑応答を聞いてみるとその殆どがプルサーマルに反対している意見である。早速私は後日速やかに生命保険に加入しようと思います。事故が起きるまで安全ではたまったものではない。"やめるが勝ち"。</p>
<p>プルサーマルの安全性、地震問題等、エネルギーを蓄電できるようにすれば原子炉はいらない。危険性を伴う。自然エネルギーに頼ったほうが良い。</p>
<p>エネルギーを原発に求めるしか方法がないと以前は思っていたし、周りの人たちの中にもそう思っている人が今も大勢いると思いますが、本日の討論会に参加して、小林先生等の意見を聞いて、需要に合わせるのではなく、人間は自然の中で生きていくべきだと私は常々思ってきましたので危険性を訴える先生方の意見に賛成です。とてもわかりやすいと思いました。推進派と思われる国・県・電力の方々が安全性や経済的な問題、それはそれで理解もできますが、終局的な目的は何なのか、何が狙いか、他に意図があるような気がします。エネルギーの過熱乱用によって自然が破壊され、その為に人間の生存が危惧されている時代に未来に渡って安全保障のないものをわざわざ取り入れずとも良いのではと思います。急いで結論を出さず、このような場をもっと開いて広く県民の県を聞いてほしいと思います。</p>
<p>現段階では絶対に反対です。</p>
<p>伊方のプルサーマルは他に比べて、高燃焼度燃料とMOXとの同時使用で非常に危険性が高いと思っています。また、南海地震と伊方沖6kmの日本最大といわれる活断層など放射能漏れ事故と地震が重なった場合複合することになります。愛媛県や各自治体は、プルサーマルと地震について調査研究組織を創設し、国や電力会社の言い分で判断せず、自治体独自の考え方を持つことだと思います。重大事故が発生した場合、国がとる責任範囲と、自治体が県民の命を生活を守るためにどのような対策を取るのか県民に公開しなければならないと思います。原発で働く労働者の被曝の拡大・増加について公表すべきである。</p>

# 自由意見

あくまで高速増殖炉のつなぎでやられる。納得がいかない。そしてゴミが小さくなるといっているが、なくなるわけではない。これはあんまりだ。それと結局は2万年もゴミとずっと暮らさないといけない。国が決めた基準だから、ということでは安心できない。

他所でやってください。

私は原発やプルサーマルには絶対反対です。進めている方に何度も何度も言いたい。あなたには最低の良心というものがないのでしょうか。不確かなものに、実験結果もないものに私たちをさらすのでしょうか。科学者とはそんなものですか。いつかあなたは後悔する。でも後悔では終わらないでしょう。孫子の代まで悔恨を残すでしょう。本当に本当に最後に聞きます。あなたは本当に安全性に確信が持てますか。確率的に言えば危険性がないとは言えないと国の説明がありました。少しの危険性でもあればやめるのが本当ではないですか。

意見が二分し平行線をたどるばかり。無意味のように感じます。プルサーマルは設置してはいけません。

アンケートで「プルサーマルは安全と思うか」「プルサーマルの導入に賛成or反対」の設問を設定すべき。この討論会の企画自体は内容的にも中身が濃く、とても良い企画だと思うが、2会場での2回のみで終わらせるのでは不十分。県民にもっとわかりやすく説明する場が多数必要と考える。

県民の心配は安全性のみである。将来の子供たちに影響が出る可能性が大と思う。安全は100%を望むものであるが、不可能としてもなるべくそれに近づける必要がある。現時点で学者の意見も割れている。作ってみてダメであったでは遅い。十分に議論をつくすべし。2010年に実施でなくて、安全についてはもっと真剣に考えるべきと思う。型づくりの討論会ではダメと思う。

原子力発電所の安全審査で安全性を保証した場合、誰が責任を取るのか。プルサーマルは危険・不必要という考えを否定し推進するが、誰が安全性を保証し、その責任を持つのか。安全委員会、政府、研究社・電力会社は責任を持てるのか、持つのか。何千・何百年も先の責任は誰も請け負うつもりも、責任を取ることもない。無責任な事業だ。風力・太陽光発電等ソフトエネルギーに対する日本の努力は極めて弱し、資産をかけるべき。コストが高くても重視すべき。結果的に、人類にとって住民・県民にとっても最も代価が安いものとする。コストについても、安い、効率が良いという論理は全体について言及しない虚偽だ。アメリカ・イギリス等先進国についても誠意は全く信頼できない。自国や大企業の政策でしかなく、信頼できない。なくすこと、使わないことが最重要な課題だ。

プルサーマルでは使用済核燃料を再処理して、つまりリサイクルして再利用されると言われるが本当ですか？リサイクルとは古紙を紙に、古鉄を鉄に、エネルギーを使って再び元に戻る、つまり輪になる動きですが・・・プルサーマルでは処理する前も処理工場でも、再処理されたMOX燃料も目には見えず、匂いもしないけど恐ろしい放射線を出し続けている。しかも再利用は1%のプルトニウムだけと聞いていますが、プルサーマルをリサイクルという資格がありますか？放射能も恐怖ですが、大きすぎるエネルギーも恐怖です。原子核の崩壊や核反応の際、放出されるエネルギーは化学反応に比べて桁違いに大きい。地震についても不安です。テロや飛行機事故も心配です。節電しましょう。1日中ついている販売機も要りません。プルサーマルを言う前に今でさえ不安がっている県民をよそに、四国だけで使いきれないほどの発電が、どうして必要なのですか。

強い必要性のない状態で、愛媛を実験室としてプルサーマルを導入することは疑問を感じる。参加者からプルサーマルに対する不安が噴出している。多くのリスク、不安を抱えてまで導入する必要性はないと考えます。プルサーマルは原発問題の氷山の一角に過ぎないという感じがしました。特に愛媛の伊方原発の場合、地震との関連抜きには判断できないと思います。

討論は危険か安全かに絞られていましたが、要は使用済燃料が溜まって困るから処理するのが目的として考えられたということが推進する理由として挙げられると思うのです。私は原発は処理に困る使用済燃料が増え続けることは計画の当初からわかっていたと思います。MOX燃料に加工する費用も安くはないと聞いていますし、どうせお金を掛けるなら電力を作るエネルギー源の選択は色々考えられるのではと思います。西日本の人家の屋根を全てソーラーシステムで覆いつくしてはどうですか。地元を説得するためにお金を落とすことは色々報道されています。こんなことにお金を使うよりは、ソーラーの設備にお金をかける余裕のない人でソーラー施設に援助を与えるほうが良い選択だと思います。もっと国が援助してソーラーを進めてはと思います。

館野先生のお話がありましたように、燃えにくいウランなどがたくさん出来たら今後どうするのですか。六ヶ所村の人たちも困るでしょう。山名先生のお話であったように高速増殖炉もんじゅのような30年先の話では先が見えない。地震国である日本には安全面でムリです。中村コーディネーターの進行はとてもよかったと思う。山名先生の安全余裕の話はよくわかった。

もしこのまま導入するならば、導入を決めた加戸知事は伊方または松山にいてほしい。私ももしプルサーマルが導入されたら、愛媛・四国にいられない。国が推進して、安全といえるのか。リコールの問題など、地震にしても、国が安全を守ってきたのか。もっとも信じられないところが進める中で県が県民の安全を本当に守れるのか疑問。自治会ごとに学習会をするなど、徹底してほしい。県に60億ほどお金が入るそうですが、たった60億と県民の命とどちらが大切かは明らかかならず。推進側の人たちは国が安全確認していると何度も言うが、無責任。そんなに安全ならば、伊方に住んでほしい。これ以上プルサーマルの導入はやめてほしい。県民はモルモットではありません。



# 自由意見

他の原発でやめていっているプルサーマル計画を愛媛県で受けることには疑問を感じます。高速増殖炉で使用すべきプルトリウムを既存の軽水炉で燃やすことに反対です。関電、東電でやっていないものを伊方で実施するのは住民の安全を優先させていないのではないのでしょうか。四電も安全性の確保を優先させたいと思いますが、現実には地震が多発している昨今、予想できないことが起こりかねません。国の要請があったり、財政がよくなったりするのも知れませんが、一度事故になったときの負は想像を絶するものがあるのではないのでしょうか。専門家の話を聞いたこと、とてもよかったです。

パネラーが各報道について自分の都合のいい側面だけを捉えて発言しており聞いていてしらける。コーディネーター、発言者ともに「さん」づけで統一すべき。特にコーディネーターは「先生」と「さん」が混在しては、中立性に欠ける。慎重派が指摘された「万が一事故の場合の対応能力のある東電や関電が行うべきです」ということに同感してしまう。なぜ四電なのか？がはっきりしない。山名パネラーの姿勢として「国がもう決めたのだから、黙って従え」という気配を感じる。三位一体改革が結局は国の財政再建の道具として使われたように、一つの既成事実を作られた後になし崩し的にプルサーマル政策が進められる危惧を感じる。

新しい技術を必要とするプルサーマルが東電、関電ではなく四電で行うのが理解できません。

地元の意見を充分聞いて急がないでプルサーマルの安全性を実験して下さい。今日の続きを何回もして話し合うべき。反対側の先生の意見は実感があつた。環境を優先すべきです。県知事はもっと勉強・研究する事をつくづく感じた。県は県民・地元の目線で考えないと「知事は辞めて下さい」と大きな声が出てきますよ。何をともにプルサーマルの許可を出したのか知事は答えるべき。金に目を向けないでください。

安全性に問題あるプルサーマル計画は中止すべきです。

パネリストが自分の意見のみを発言しすぎ。コーディネーターが討論をもっとしてほしい。必要性のみの討論でもよかつたくらい。核の話など、必要性の後でよい。電気は生活に必要。プルサーマルをやめると電気代がどれだけ上がるのか。舘野氏の話が一番的を射ていると思う。

プルサーマル利用の立地県シンポジウムで政策的議論するのは方向性がおかしい。国民の生命の安全性に関する問題と一応認識されている事柄は、国民合意を形成することが第一であり、何年でもかけて議論を尽くすべき。その上で合意が得られるのであれば、安全性の面を考慮し強権的に誘導すべきことだと思う。そもそも、将来的なビジョンを持つのであれば、内在的な危険性は排除できないのであるから、居住地等の移転を伴う政策的な安全性確保を行うべきではないか。

専門的内容で少し難しく、理解しにくかった。経済的に赤字状態になるという話もチラッと聞き、愛媛県としても重要な問題であるのではと思った。なんといっても安全性が一番の問題点である。少しは理解できたが、難問としては退こう。プルサーマルについての討論も大切ですが、省エネについてもっと考えて討論することも大切かと思えます。パネリストの先生方の中にも慎重派・推進派があられて一般市民はやはり慎重派の意見に同調したい。安全余裕、絶対安全でないのならプルサーマル導入には反対したい。

最後の方で小林先生も言われていましたが、需要があるからと言って原子力発電やプルサーマルの推進をしてもいけないと思う。個人的には専門家が危険性を危惧しているのならば、プルサーマルは反対です。

原子力と人間は共存できない。経済性より安全ではないか。命をつなぐためにはなによりも、水、空気、食物が大切なものではないか。(夏を涼しく過ごすことが命より大切なのか?)

電氣量をいかに増やすか、いかに使わせるかではなく、自然を大切にすれば自然を守るかを考えてほしい。

両意見を聞き疑問が大きくなった。海外の化石燃料に頼っている日本で再利用の可能性があれば、技術大国日本が安全に確実に実績を積み必要があるのでは、問題を先送りすることなく、取り組み、世界の進んでいるところをお手本にすべき。

会の進行に徹すべきコーディネーターがプルサーマルの必要性安全性を長時間にわたって説明するのは不自然。討論会を公正、公平と運営しているのか疑問が残る。県民の大きな関心事の一つである耐震性についてプルサーマルの安全の範ちゅうの中で議論のできる専門家がいないのは問題。

安全性に充分考慮した上で実行すべき。急ぐ必要はない。

ウラン燃料のために作られた炉でより危険度の高いMOX燃料を使う、技術的には色々工夫しているということだが、誰からも絶対安全とは聞いていない。もし事故がおきた場合、被爆の問題がある。死に至る事故の可能性と較べてプルサーマルを実行するだけの正当性が見当たらない。事故が起きたら、伊方町の人々が犠牲になる。私は伊方に住むのは怖い。住民の安心を保障できないこのような行政には信頼がおけない。

安全論者は自分の近所の原発を作ればよい。

# 自由意見

参加して開かれた公開討論会とはいい難い。なぜなら、条件付き項固を設けている。さらに出入り口にてビラを配布しないように指導している光景が見受けられた。なぜ愛媛県知事は小林氏の意向を取り入れないのか。県民を殺すつもりか。プルサーマルの必要性については、不必要。少子高齢化で20から30年後は人口1億人以下になり、電気を必要としない時代になるから。参加者の発言は、全てプルサーマル計画に反対意見ばかりであることを、愛媛県知事及び四国電力会社はどう受け入れたのか。プルサーマル計画を推進する者は、家族とも伊方発電所の近くに住居を構えてから推進してもらいたい。伊方発電所が破壊され、臨界超過し、核分裂した場合、愛媛県及び四国電力は何の責任がもてるのか教えてもらいたい。答えられないでしょう。

原子力は人間の作るものであり、人間が管理するもの。理論はどうであれ、人間がするものに絶対はない。

今の状態では反対です。伊方町の皆さん、加戸知事、あせらないで下さい。急がないで下さいおちついて下さい。その理由は「後悔先に立たず」です。

原子力に頼らずに節約のほうに力を注いでいきたいと思います。基本的には反対ですのでプルサーマルは実施しないで下さい。

我々の生活の安全は守られるのか、チェルノブイリの事故が起こるのではないかという思いが強い。どうしてこのような公開討論会が行われるのかよくわからないが、山名さんの話は20年も前からという話であるが、今は、日本がこのプルサーマルを進める背景にはやっぱりアメリカの政策をそのまま進めているということがあらためてわかった。このような背景の中で愛媛県は全国に先がけて導入するのか？国の補助金が入るのでやりたいだけなのか？県議会の中で十分やるべきではないか？まずは安全性がどうか。事故が起きない保障はどこにもないだろうが、どこがクリーンなエネルギーであるのか。根本からまちがっている。本当に原子力は安全かが、一番問題であると考えます。計画を推進する県と四国電力はあくまである。なぜ、プルサーマルか。私達は関西の電力需要の犠牲になるのか？

近い将来起こるといわれている地震の際に、安全性が非常に気になる所です。不安です。

アンケートの設問がおかしい。愛媛県民のために反対意見を堂々と発言してくれたパネリストに心から感謝いたします。

省エネルギーを推進することの重要性について論ずるべきではないでしょうか。プルサーマルは資源の節約にならないということを知りました。そうしたら実施すべきでないと思う。

プルサーマル絶対反対。

「県側の回答が無し」の会だったので(見せかけの形式上だけの討論会だ)、このアンケートの意見は必ず県として責任を持って、アンケートをまとめて公開発表してください。でないと、このアンケートは何の為に役に立つのか？県の主催と言いながら主催者がいない！おかしい会！本日は、県の形式上だけの討論会にすぎない。60億円の補助金の件について、県の回答は絶対が必要！この大事な件についての本日の討論会にも一体どれ程の県職員、県議会議員、知事をはじめとする県政の中心的人物の参加者がいるのだろうか？物々しい「入館証」等、管理されているわりには県政に関する人達の熱意・誠意が感じられない会だった。国策にまかせるのではなく、もっと地元自治体としての態度をはっきりすべき行動をとって欲しい。いずれにせよ、もっと人間が電力消費量を減らすようにする事が大切。県の責任者が壇上にいないのもおかしい。質問にも答えられない状態。コーディネーターは、何で補助金に関しても「県に回答をする様に伝える・・・」と言わないのか？県から呼ばれて出席しているから県寄りにならざるを得ないのか？

原子力、プルサーマルは絶対安全でなければならない。現状では絶対安全とは言えない。この状態ではプルサーマルは反対である。

安全性についての不安が解消されなかった。やはり安全であると心から思えるものでないとプルサーマルは実施しないで欲しい。

パネラー6名の中、半数が安全性に問題ありという状況の中、プルサーマルの取り入れに対し、絶対安全確保が出来ないものには反対いたします。

県民の大半は反対であると感じており、県と国と技術者が一方的にやらそうとしているのではないのか！？また四国電力も国に踊らされているだけではないのか？四国電力の意志(本当の)が聞きたい。

プルサーマルを含めて原子力発電の危険性は原発のない地域と比べて高いことは同じである。たとえば、同じ四国内でも愛媛県は電気料金が安くなるとか具体的なメリットを示して欲しい。

万が一の原発事故を想定し県境を越えて、伊方原発を中心として100km以内くらいの地域の住民全てに公開討論会参加の機会を作るべきです。

四国電力と国はその誠意がないことがハッキリした。

プルサーマル計画は推進すべきではありません。

スロー、スモール、シンプルな暮らしを1人1人がすすめていけば原発は減らせる。

プルサーマルはいらない。

討論会 真の中身は 別にあり 人の生命を 金で買う 60億は何の為に 形ばかりで 住民感情 カヤの外

優れた識見の先生方にも想定外があると思わずを得ません。この問題については、決して確率とかでgoサインを出して欲しくありません。参加させていただいたことに感謝します。

# 自由意見

国策としてエネルギー確保のためにプルサーマルを導入したいのであろうが、事例が少ない段階で伊方への導入は不自然である。国の原子炉で実験を繰り返し実証されてから企業導入すべきである。なぜ急ぐのか、なぜ伊方原発なのか、不信感を持っている。中央構造線にある原発、想定外では済まされない。国民への被害がもしあった場合国はどのように保障するのか答えが欲しい。

プルサーマルについては、地震等による事故があった場合、被害が大幅に拡大する恐れがあるため反対である。

伊方町で行われた国主催の公開討論会で十分であり、県主催のものまで必要かと疑問に思ったが、参加してみて「プルサーマルの知識、理解がたくさんの方に広まった」ということでは有意義であったかと思う。(前半のみ)しかし、日本のエネルギー事情を考えれば、速やかに結論を出すべきであり、不必要に時間をかけることは日本のためにならない。県が文句を言われないようにするためだけに時間をかけているように思ってしまう。後半は、反対派のみの質問、意見の場になってしまったのは県の運営がまったくズサンであったからで、このような公開討論会をすればよいのみと思ってやったのであろうが、マイナス効果になってしまったと思う。県は何をやっているのか、日本にとって重要なエネルギー問題であるのに愛媛県は原発立地県としての行政能力がないと感じた。

なぜ伊方に導入するのか説明がない。

隣接市の八幡浜の住民の意見を大いに聞くべきである。耐震性の議論を多くするべきである。

国内でのMOX燃料の使用実績が6体しかないがなぜ6体のみ使用したのか、なぜ使用は継続されなかったのか。質疑応答時間が十分にとられており、満足できたが会場が広すぎる。人数が多すぎると感じた。地震については口頭説明はあったがデータがない。結局は起きてみないと分からないということか。プルサーマルより原子力一般の説明が多く、もっとプルサーマルについて討論することはないのか？

今回の討論会が開かれることは地元あまり知られていない。地元で理解してもらうためにはそれぞれの地区で一人ひとりに説明すべきではないか？また、危険をおかしてまで進める必要があるのだろうか？国は押し付けているように感じた。

コストのことだけで言うなら風力で十分。安全性を買いたい。

プルサーマル計画が本当に安全なら、東京の都心に原発を建設し、プルサーマルでも何でもすればいい。

今日の討論会はあくまでパフォーマンスである。結論付ける際は住民は蚊帳の外である。

近い将来プルサーマルを導入することになっても、もっともっと勉強会等をして、実験的に導入することのないようにしてほしい。

資源面、経済面等、様々なことが絡み合っていてとても難しい問題であると再認識した。十分な説明が必要であると思う。

地球温暖化が進んでいく中、人間のエネルギー消費は今以上に増えていくと思う。原子力に頼る部分もあると思う。しかし国民、県民の大多数が原子力には無知であると思う。まずプルサーマルについて話す前に今、伊方にある原発がどういふものかどうが、国、県は公表すべきではないか。

どんな結論を出すにしろ、人間が決める以上100%正解はないと思います。だからこそ、みんなで集まって話し合うことはすごく重要だと思いました。今日はこの討論会に参加してよかったです。ただ、質疑応答にもありましたが、専門家でも意見が割れることを急いで進めることにはやはり抵抗がありますし、核は怖い。飛行機がビルにぶつかったり、近隣国からミサイルが発射される現代に生きている以上、それが原発にぶつかったら…という不安はぬぐいきれません。本日のパネリストの皆さんは略歴を見ても原子力にはほぼ一生を掛けて向き合ってきたわけですが、そういう人々の実感として(知識や理性でなく、動物的な感覚で)核って人間の手に負えると思うかを聞いてみたいと思いました。やっぱり人間って、賢くもおろかだと思わないので、戦争はなかならないし、少なくとも、今日参加して、私としては「省エネして、原発不要なところまでいけるようがんばろう」といういつもの結論に達しました。「怖い、嫌だ」と主張する以上、努力せねば(この辺内山先生にも一票)どのパネリストも感情的にならず、考え方の違いはあれ、前向きな議論だったと思います。ありがとうございました。

日本にとっても愛媛県にとっても、将来を考え、適切な判断をしてほしい。地震問題との関係が心配。

住民意見としては、国・世界レベルでの見方はしない。リスクがなくはないが、本当に必要か、実施するにあたり安全は確保されているのかを吟味した上で今後県としての回答を出してほしい。

プルサーマルの公開討論会を聞いて、情報公開の必要性を感じました。県民・伊方町民の不安解消に今後とも努力願いたい。

特に賛成というわけでもないが、反対派の人の声を聞いているとプルサーマルについて議論しておらず、反原発に終始している。もっとプルサーマルについて意見を述べてもらいたい。

ただエネルギー消費ということだけでなく、生きてゆくその生き様、自然と環境をもっと考えなければいけないと思いました。ありがとうございました。

難しい話は我々にはわかりかねますが、良いか悪いか五分五分に分かれています。長所あれば短所もある。危険を超えてまで実行しなくてはならないことでしょうか。

質疑応答で慎重派の質問が多く、肯定派が少なかったのが…？！

# 自由意見

公開討論会で賛否両論が聞けることは良いことだと思う。県民に対して詳しい説明の場があることは必要だと思った。

パネリストの先生方に胸に名札を付けてほしい。スクリーンでは名前がわからない。反対派の人たちはヤジを謹んでほしい。

プルサーマルの安全性について反対の意見等参考になりました。もっと詳しく勉強したいと思いました。

説明資料(画面に表示されるもの)について字が小さく見えにくい。開催にあたり、国からの説明を取り入れないと国の考えがわからない。又、国がどのような根拠で許可を出した理由等を踏まえて説明してほしい。

省エネルギーを考えなければならないと思いました。

事前に質問を受け付ける形式のほうがよかったと思う。プルサーマル是非よりも原発自体の反対意見が多く、議論になっていないように思われた。

エネルギー問題中心で、テロ等の可能性への言及がなかった。

プルサーマル、プルトニウム、再処理等々、新聞・ニュースで聞いてはいたが、実際に会に参加して、直接パネリストの先生方の意見・考え等を聞いて、どういうものかということがわかってきた。ただし、プルサーマルについて、それが安全か賛成か反対かといわれても今の段階では答えようがない。どちらの意見も正しく、納得がいくからである。これから勉強して行って、自分なりの考えを導きたいと思っている。

先生方の議論が少し難しい。もう少しわかりやすく説明してほしい。

討論会はパネラーが自分の意見を単に述べているだけで、新聞などによる知識と大きく変わらない。

コストや経済性の面から言うと、プルサーマルは有効であることはよく理解できたのですが、安全性の問題、特に技術面からは少し不安が残っていると感じられる内容だったと思います。

現在の快適な生活を送るためには、仕方ない選択(原子力を使用すること)のように思っていますが…未来の子供たちにとり、最善の選択であったかは未来にしかわからないことなので、大きな過ちを犯しているのかもしれない。

パネルディスカッションでは議論が発散し、よく分からない部分もあった。もっと論点を絞った議論をしてもらいたかった。

このような重要な討論を1回だけの開催では不十分である。もっと県民全体が理解できる期間を作る必要がある。

今後資料を読み、理解を深め、プルサーマルについて興味を持ちたいと思いました。

プルサーマル計画の概要は理解が深まったが、これは国全体のエネルギー対策の一つであり、このテーマを議論する以前に日本のエネルギー政策の方針が国全体で議論され、それが国民の理解を得ることが重要であり、それを受けて、愛媛でのプルサーマル計画を受け入れるか否かの是非を問うべきであると考えます。国全体の経済性なども勘案して、エネルギー施策を考える必要があると考えます。我々も含め、この数年間電気を含めるエネルギーの消費量は莫大な勢いで増加しています。CO2の削減を定められた京都議定書の件を含め、国のエネルギー全体をいかに考えるか。その議論なしに進めているので、なぜ今プルサーマル? どうして愛媛? という疑問が生じ、反対論も多くなるのは当たり前だと思います。まず総論を定め、それから各論に入っていこうではありませんか。行政側では総論が出ていても、それが広く国民に周知され、理解されていないと、その総論は確立されたものではないと思います。

賛成・反対の意見が聞けたので、県の意見も聞いてみたい。

パネリストの方の一般参加者への返答が、質問に対する答えになっていないという場面が多く見られたのが残念でした。

大変勉強になりました。プルサーマル、安全に十分に留意したうえで推進して下さい。パネリストの方々の話も非常に興味深く聞かせていただきました。ただ少し気になりましたことは、推進派の先生方が解析結果やデータに基づいてお話しされているのに対し、反対派の先生方は定性的な説明を終始していたように感じられました。また質疑応答の際、会場から指名されていないにも関わらずヤジのような場面があり、少し不快に思いました。今後同様なシンポジウムを行うときは適切に対処していただきたいと思います。

反対者の意見が多かったため賛成者も多いと思います。

何のための公開討論会なのか分らなかった。

県主催の討論会ならば県のスタンスも語って欲しかった。

# 自由意見

原発と地震の話はプルサーマル計画のGOサイン。県と四電は最重要課題として県民また自治体の理解ができるまで説明が必要。電力使用の抑制が1番大切。内山氏は難しいとしきりに発言。しかし国民的に節電を本気で考えるべき。

専門家のパネリストの意見が2つに分かれるからそれぞれの人の言い分が正しいように思う。

最新の資料データを十分準備、用意を行い、それに基づく理論的かつ理解しやすい説明に努力。

反対論者にも論じさせるのは画期的であるが、この討論会を踏まえてプルサーマル計画が撤回される可能性はあるのだろうか。民意を表明できる場がない以上。

この討論会に参加してみて、県の人参加する必要ではないかと思う。

必要性については十分理解できた。安全性についてはまだまだ疑問が残った。もっと議論を十分に決定して。

経済性エネルギー問題として日本はプルサーマル事業を推進していくべきと思われるが、安全性疑問は残っている。

プルサーマルの可否が別の論点にすりかえられる内容で不満が残った。もっと正面から論議して欲しかった。

このような討論会はいつまでたっても交わる事のない意見。ただこの計画を進めるにあたって、事故や不適切な処理をした時や、そうならない為の方策を考え責任の所在をはっきりしてほしい。プルサーマルに反対の人は必ず、戦争に結びつける事もおかしな話だ。そういう意見を言う人こそ政治的な事を考えている人ではないかと思う。しかし火中の栗を愛媛が拾う事もないのではということも感じた。

プルサーマル討論会なのに地震の安全性について質問されたパネリストが地震が心配と言うだけでプルサーマルがそれに関連してどの程度かは答えられてなかった。パネリストのほうで話が聞きにくい方がいらしてゆっくり話してほしい。専門家の意見が分かれるのは当たり前でそのように人選されていると思うので討論会で勝ち負けが決められる事がおかしいので3対3でよかった。

パネリストが配布している資料については、図及び引用資料を用いないと証明されていないものがある。一般の方が見る資料として、より明確に賛成、慎重の立場が分かるように十分な説明資料に感じる。計画概要のレジュメについては分かりやすい内容であるが中身が物足りない。パワーポイントによる説明は分かりやすい図の提案という意味で重要だと思うので、多くの資料は分かりやすかったが、一部見づらい資料があったのでリハーサル等で確認してほしい。パネルディスカッションの手法については専門家の方々のみで議論することはいいと思う。しかし、一部議論がかみ合わない部分については、解説的な立場で事実関係を述べる人間を立てるべきではないか。できれば、コーディネーターの側に解説者をもう1人立てて、事実関係を説明する人が欲しい。専門外の事実に、軍事的、政治的な部分についてパネリストの中には用語の誤用や実際に使用されていない言葉を用いてミスリードする方がいたのは残念である。

100%安全であることの保証はないのではないかと思う。原子力の必要性も分かるが、原子力が不要で世の中の活動がまわるようにすることも検討が必要ではないかと思う。

討論会を開くことで何かが変わるのですか？

今日の討論会はプルサーマルについての理解が何より大変有意義な会だったと思う。

プルサーマルについて賛成とも反対とも決めかねる。これからのシンポジウム四国電力などの話をもっと聞きたいと思う。

専門的な事柄であるので、一般人の判断にはなじまない。賛成派と慎重派のパネリストの意見がかみあわない。論点をしばって徹底的に議論させては。

先生方専門家の方々の意見がこれほどまでに正反対だとは思わなかった。同じデータを基にしても、前向きな考えとマイナス面を強調した意見に分かれたけれども、日本の今後のエネルギー問題に四国のみんなが取り組む必要があると思う。

野次がうるさい。大声でわめく人はすぐ退席させて欲しい。地元開催という事で、リスクの話(必要性、安全性)も必要だが、経済性(電気料金etc)の話も増やして欲しかった。

国策の議論と伊方での個別論議がかみあってなかった。

プルサーマルの安全性についての(危険性)討論がはっきり分かって良かった。外部から運び込んで再処理するのは危険度を考えさせられる。民間不担金がでるのもよくない。今の世の中は自分でお金を出して自分の健康、自分の将来生活をしていく方向になっている。

推進派と反対派のデータの意見の相違があったので中立的な立場の人によるデータが欲しかった。推進派の意見は発言がしにくい状況だった。討論会においてやはり反対派が推進派にまわることはないが中立の立場から勉強にはなった。

四電本社 香川 愛媛へ 県として強く要望してほしい。

パネリストの方々の賛否両論、あまり関心がなかったのですがこれからは少し勉強しなければと思います。

# 自由意見

反対派が組織的に反対意見を出し、会場全体の公正な意見とは考えられない。反対派の宣伝会場となりかねないと思った。

反対意見の方は前もってしっかり意見をもたれて発言されているが、推進意見がでないことが大きな問題ではないか？ 第2回、3回とこのような会議を開いていただき、しっかりと互いの意見をだしあっていたいただきたい。

論点が多岐で議論が深まらなかったのは残念です。コーディネーターは良かったです。

内容を重視した討論会にしてほしい。無意味な質問が多すぎる。

安全面には十分注意していると思いますが、万一事故が発生した場合は、何kmまで害が有るのか、責任は許可した国が持つのか、県が持つのか、四電が持つのか、新聞等で公表して欲しいと思います。

前回の国主催のシンポにも参加したが、今回の方が下記の点で論点をはっきりしてよかった。

・パネルディスカッションでの論点の整理

・質疑応答時間の充実

ただし反推進派の意見については、組織的な質問、それに対する先生方の応答等戦略的な面が見られた。

四国電力の常日頃の取り組みが最も重要である。

賛成反対の意見は人それぞれであろうかと思いますが、愛媛県民にとって必要性、安全性を除きメリットはどのような事があるのか、又デメリットはあるのか現実的な所が知りたかった。

パネルディスカッションではプルサーマルの問題点がどこにあるのかパネリストの議論を通じて理解を深めることができた。伊方町民ではないが、近隣市町の住民としては安全性の確保が最も重要であると思う。プルサーマルの事故があった場合住民にとってもっとも危険なものは何か具体的に示した上で技術、安全対策でこのような危険はどの程度封じ込められるのかというような論点での話が聞きたかった。質疑については住民からの素朴な疑問の質問が多く安全性について最も関心が高かったが、身近な問題として考えられた。

国、県、企業に信頼感があるか、ないかが大切だと思いました。

関係者の方は準備など大変お疲れ様でした。内容は良くわかりましたがパネルディスカッションでパワーポイントの図で数値がぼけて非常に見にくかった。声は十分でした。質問コーナーについては反対派の組織的な発言が目につき見苦しく感じました。また、慎重派の先生は数字ではなく観念的な話が多く説得性に欠ける様な感じがした。全体を通して、県主催にしては県の担当者が登壇していないのは変な感じがした。

関心のある人たちは心配を大きく持つけど、まだまだどうでもいい人たちもたくさん居ると思うのでもっと県民に興味を持たすようすみずみまで浸透させなければいけないのでは。でも、反対者があったとしてもプルサーマルをやるという方向になっているのでしょう。やる以上はきちんとうだから大丈夫ですよという説明をし、疑問を持たせないようにしてほしい。

松山会場の質問者は反対派・慎重派が多くて偏りがある。

プルサーマルについては、本当に難しいということを感じました。専門家の方の意見をお聞きしても、さまざまな問題や課題があり、完全に安全と言うことはできないのだろうと感じました。使用済MOX燃料の処理について疑問が残りました。次の次の世代にまで処理できるか分からないものを残していくのはとても無責任であると思います。私はプルサーマルに関しては、あまりして欲しくないとはいいますが、信頼を得ている四国電力さんをはじめとし、より多くの情報提供をしてほしいと思いました。

松山会場にはプロ市民が多いと思う。正しい認識をもっと多くの人が持つべきである。

安全性に関する先生方の説明は専門的すぎて分かり難かった。もっと素人分かりする様な工夫が欲しかった。パネルディスカッションは慎重派の先生方の発言時間が長かったように思う。しかも、それに対する推進派の先生の反論も時間が少なく、不公平を感じた。松山会場の質疑応答はプルサーマル計画に反対する人たちが多数着席するブロックを優先的に指名したため、会場の多数が反対のような印象を与えた。もっと両方の意見を聞きたかった。

パネリストの意見の中にプルサーマルの必要性、経済性の論点からずれた内容が多かったのが残念であった。参加者の質問に適切な回答がされていてよかった。

安全性、危険性それぞれの意見があり、どこまでも平行線の問題であると思う。廃棄物処理場のような迷惑施設であるということ、原子力発電も必要であるという前提での議論、施策のあり方もあれば、もっとよいものになったと思う。推進賛成というわけではないが、万一事故が発生しても、これだけの対策を実施しているので迷惑施設を受け入れて欲しいといった設置側の最大限の誠意が欲しかった。安全であるので大丈夫といった絵空事の意思が繰り返されて逆に不信感が増す討論会となった気がした。

愛媛県にはプルサーマル利用の結果補助金はどうなるかということの説明が欲しかった。

公開討論会に参加してある程度は理解をしたがまだまだ理解不足をしている人が多いと思いますのでH22までにできる限り公開討論会を重ねてほしいと思います。

# 自由意見

技術的な内容についても一般の人が理解できる全体をまとめた資料があればいい。
愛媛県主催で県民感情がストレートに出る意見が多かった。県民感情を広く聞き入れるという面では、成功であったと思う。
推進・慎重の意見を聞いてどう判断するか、討論会の位置付けをはっきりするべき。
慎重派の意見の中には公開討論会の主旨(安全性)からずれているものが多少あったと思う。最初から立場の異なる両者の意見を聞いて、果たして一般の人がどれだけ本当に理解できるか疑問である。結局は話術のうまい人に流されるだけではないか。愛媛県の判断材料になるのか？一般の人が自分の考えで判断できるのか余計にわからなくなる方向ではないか？
日本がかかえるエネルギー資源について今後重要な課題であることを痛感した。資源を有効に活用していける技術の開発、安全管理を進め未来にエネルギー資源を残していく必要があると思う。プルサーマルの安全性、必要性についてもっと議論してほしかった。
反対派が事前に用意周到に準備していて、討論会全体をうまく利用された感じがする。結果次元が低く、活発な議論とはいえず、的外れな感じがする。
賛成派の先生の選定が悪い。技術的だけでなく、一般的にやさしく話ができる人が良かったのでは。慎重派の人の根拠が不明。国民の本当の気持ちを理解してない。
「賛成」「反対」それぞれの立場に固執して論じ合うだけでは不安を解消できないと思う。技術論で展開すると難しすぎる。正しく理解し、正しく判断するために理解を得ることを目的とした討論会になってなかった気がする。
パネリストの意見が難解だった。
質疑応答での一般質問の時間が足りませんでした。
当初から国策として「プルサーマルありき」での論点であり、いまさらプルサーマルに対して反対してもどうにもならないのではないかと。東電、関西で問題点が生じたプルサーマルを何故伊方に持ってくるのか？現在地球規模での環境問題が大きな問題点になっており、起こりうる可能性について何年か先に発生してからの対応ではなく、今の時点で十分な検討と取りうる対策について国からの押し付けではなく、もう少し安全性についての論点が必要だと感じている。
前回の6月4日のプルサーマル討論会にも出席して感じました。本日の討論会のほうが内容が深く、大変勉強になった。
知事が挨拶されたように議論がつくされ県民が理解される場ができてよかった。
必要性ということは分かりました。安全性については分からないので、新聞で両方の意見を併記して今後実施してもらいたい。疑問は残りました。
パネルディスカッションの大部分が必要性についての討論であったように思う。もう少し安全性の面についての時間を費やすべきではないか。住民は必要性よりも安全性である。後半の部で安全性の面の話が多くなることを期待してます(残念ながら質問の時間は参加できないので)。